

参考資料

1. 新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画(概要版)
2. 近隣類似施設の利用規則等
3. 管理運営基本計画策定にあたっての取り組み
 - ① 検討経緯
 - ② 管理運営基本計画検討懇談会メンバー一覧表
 - ③ ワークショップ通信
 - ④ シンポジウム実施報告
 - ⑤ 芸術文化団体ヒアリング調査について(まとめ)

参考資料 1 新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画(概要版)

【概要版】新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画 ～集い、魅せる、つくる 躍動するまちを目指して～

平成 28 年 6 月 岡山市

1 新しい文化芸術施設の整備方針と役割 (P. 1～6)

「基本計画」は、これまでの検討経緯を踏まえ、有識者のご意見や、パブリックコメントなどによる皆様からの様々なご意見を参考にして、「千日前地区市街地再開発事業地」を整備地として、新しい文化芸術施設の整備方針を具体的に整理したものです。

【新しい文化芸術施設の整備方針】

- 現在、岡山市で行われている事業や活動を支援するとともに、自ら創造していくための礎を築いていきます。
- 岡山市域に新たな賑わいを創出することができる事業や活動を再開発地域と一体となって行います。
- 岡山市が誇れる新たな価値を創造することができる事業や活動を展開していきます。
- これまでの市民活動を支えるとともに、岡山市が誇れる舞台芸術、音楽芸術を育み、創り出し、発信させていくための機能を備えた施設整備を目指します。
- いつでも誰でも気軽に立ち寄り、憩うことができる機能を備えた施設整備を目指します。

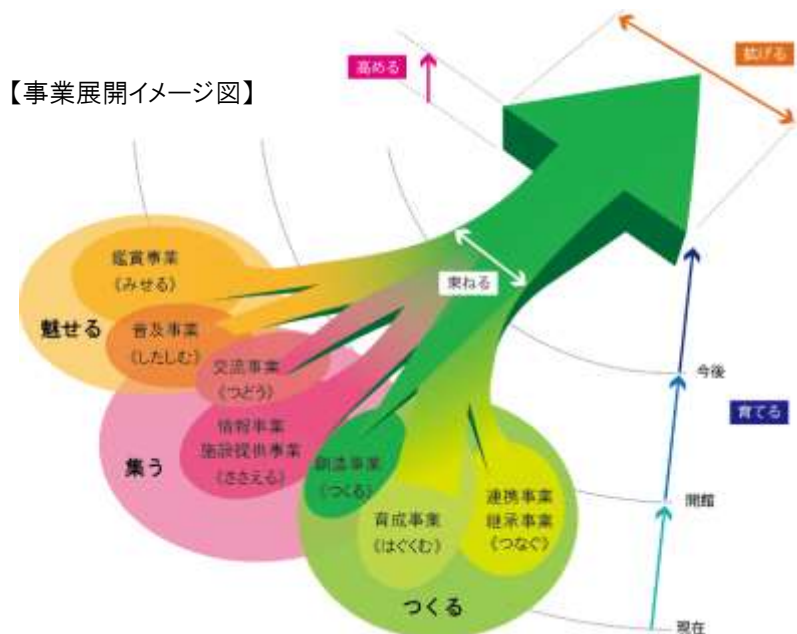
2 事業の考え方 (P. 7～9)

魅 せる	鑑賞事業《みせる》 普及事業《したしむ》
集 う	交流事業《つどう》 情報事業、施設提供事業《ささえる》
つ くる	創造事業《つくる》 育成事業《はぐくむ》 連携事業、継承事業《つなぐ》

新しい文化芸術施設は、「魅せる」「集う」「つくる」という活動を中心として事業を展開していきます。

これまで岡山市内で実施されてきた「魅せる」「集う」といった活動をより一層強化するとともに、芸術文化団体や市民が行ってきた様々な創作活動を支援し、新たな文化芸術の創造につなげていくために、「つくる」活動を実践していきます。

さらに、これらの活動に多くの人々が参加し、また市民と協働することで、様々な事業の充実を図ります。そして、「つくる」活動と、「魅せる」「集う」活動がつながり、相互に連携し、さらなる創造的な活動や事業の展開を図ることにより、岡山独自の文化芸術を創り出し、国内外へ発信していく創造型の劇場を目指します。



3 管理運営の考え方 (P. 10~15)

【管理運営の基本方針】

- 専門性の確保
- 柔軟な管理運営
- 非営利の経営視点を持った管理運営
- 評価の仕組みの構築

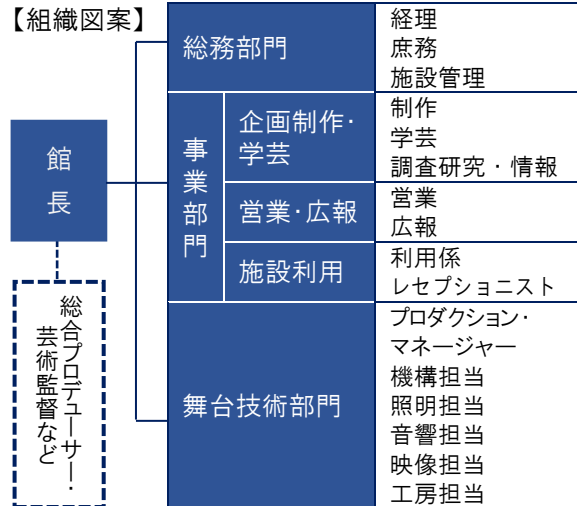
【組織体制の基本方針】

- 岡山市の文化振興施策を具体的に実現する劇場として相応しい運営体制
- 施設が備える機能を十分に発揮できる運営体制
- 柔軟な対応ができる運営体制

管理運営は、整備された施設や設備などが常に安全に運用されることを基本とし、目指していく事業や活動の成果を最大限に引き出していくための管理運営や運営組織を検討します。

事業の実施に必要なと想定される職能について、「組織図案」を示します。事業や活動を統括する能力として、総合プロデューサーや芸術監督などの配置についても、必要に応じて検討していきます。運営方式は「直営」・「指定管理者」のメリット・デメリットを精査し、今後、検討をすすめます。

【組織図案】



4 諸室計画 (P. 16~28)

大ホールエリア	<ul style="list-style-type: none"> ・バレエ・ダンス、オペラ、ミュージカル・音楽劇、大型演劇など大掛かりな舞台芸術の鑑賞事業を行うことができる高い専門性を備えた多機能ホールとして計画する。ポピュラーコンサートやロック、ジャズ・吹奏楽、邦楽・民族音楽などの音楽芸術の公演にも対応する。 ・プロセニウム形式の舞台(開口幅:18m、奥行:18m程度)とし、様々な舞台芸術の上演が可能な機能や、台詞など肉声の響きに配慮した残響時間や響きを備える。 ・1,700席程度(1階客席900席程度の3層構造)の客席を備える。 ・十分な遮音性能と静音性能を確保する。 ・大ホールホワイエへの入口は、観客を迎えるに相応しい設えとする。また、開場前の観客や高齢者、障がい者、子どもなどの利用に配慮した動線上の工夫を図る。 ・11t車両の利用を想定した大ホール専用の搬入口と複数台留置き可能な駐車スペースを設置する。 	
中ホールエリア	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇やダンス・舞踊、伝統芸能など舞台芸術の創造活動を行い、その成果を広く発信していく高い専門性と機能を備えるホールとして計画する。創造活動に対応できる今日的機能を備えた舞台設備を設置したプロセニウム形式の舞台(開口幅:14.5m、奥行:14.5m程度)とし、台詞など肉声の響きに配慮した残響時間や響きを備える。 ・可動式音響反射板の使用時には、クラシック音楽など生音の響きを大切にする音楽芸術に対応できる音場となるよう計画し、市民文化ホールがこれまで担ってきた比較的小規模な音楽利用にも対応できるものとする。 ・800席程度(1階客席600席程度の2層構造)の客席を備える。 ・十分な遮音性能と静音性能を確保する。 ・大ホール同様、観客を迎えるに相応しい設えや動線上の工夫を図る。 ・11t車両の利用を想定した中ホール専用の搬入口を設置する。 	
創造支援エリア	<ul style="list-style-type: none"> 大スタジオ 大中小練習室 創造スタッフ室 工房及び倉庫 	<ul style="list-style-type: none"> ・創造活動や日常的な市民の練習活動を支えるためのスペース。相互の室の活動を制約しない計画とする。 ・大スタジオは大ホール、大練習室は中ホールでの公演の稽古を想定し、主舞台面積のほか必要なスペースを加えた面積を確保する。 ・大スタジオと大練習室は、公演利用を想定した機能を備える。
交流促進エリア	<ul style="list-style-type: none"> オープンロビー インフォメーション 情報コーナー カフェ・レストラン 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でもが気軽に立ち寄り、憩える多目的なオープンスペース。 ・人々の交流の機会や賑わいを創出する空間。
その他管理エリア	<ul style="list-style-type: none"> 管理事務室 その他(救護室等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理に必要な事務室及び関係諸室、その他(救護室等)を設置する。

5 施設計画 (P. 29~41)

来館者動線	・主に、周辺の街路から来館する観客や施設利用者などを想定。 ・誰もがアクセスしやすくする。
出演者・関係者動線	・主に、大ホール・中ホールで上演される演目への出演者や関係者の動きを想定。 ・観客やホール以外の施設利用者の動線と交わらないものとする。
大道具等搬入動線	・公演や催物で使用する道具や機材などの動きを想定。 ・簡便かつ安全な運搬を可能とする。

大ホールエリア	約 6,000 m ²
中ホールエリア	約 3,000 m ²
創造支援エリア	約 3,700 m ²
交流促進エリア	約 800 m ²
管理エリア・その他	約 6,500 m ²
合計	約 20,000 m ²

新しい文化芸術施設の動線には、大別して上記の3つの動線が必要です。これらの動線は、劇場施設の特殊性に鑑み、基本的に分離して計画します。

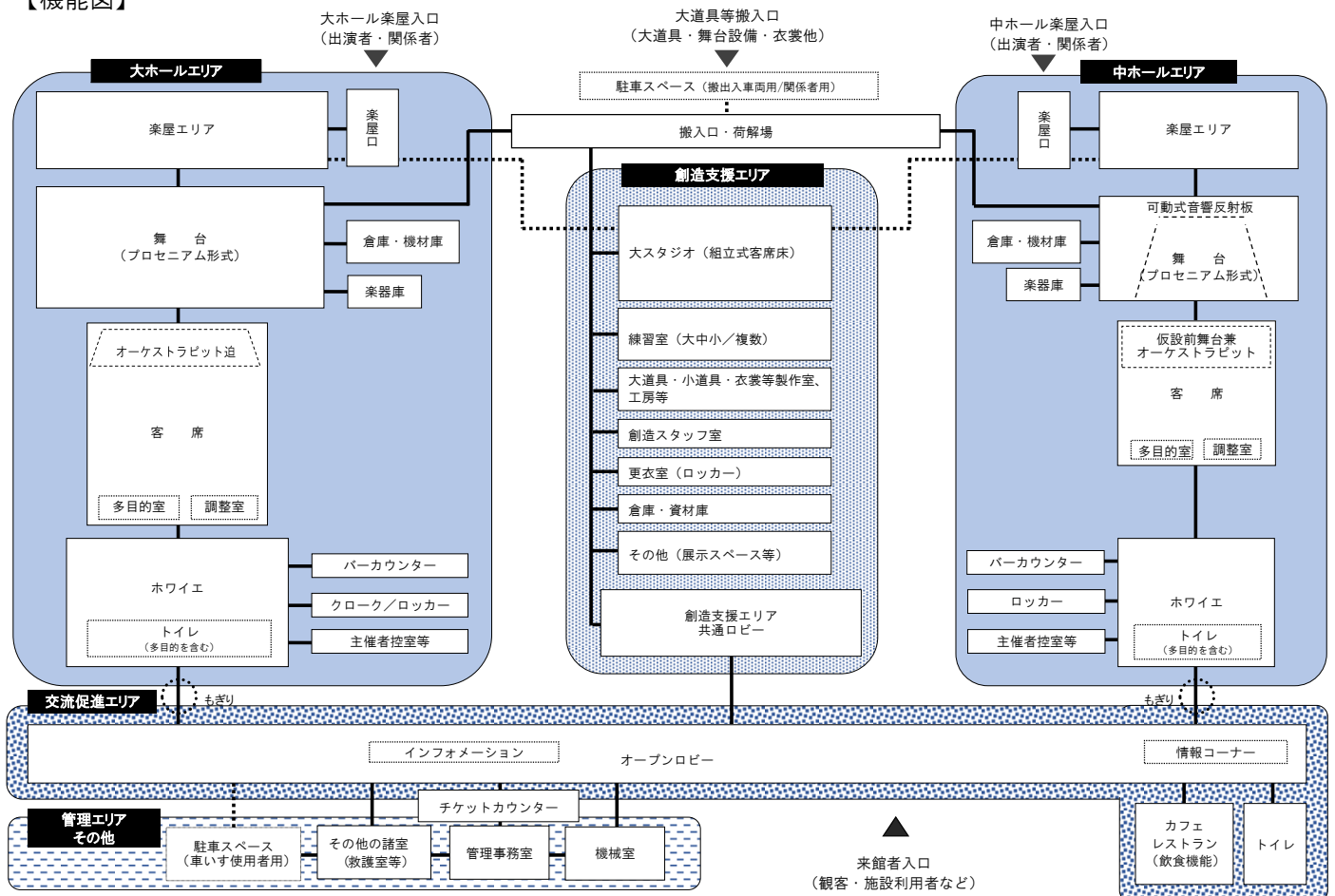
また、本施設は市街地再開発事業により整備される複合施設であり、本施設以外の施設部分や共用部分の建物設備諸室等への動線についても、別途その必要性に応じた検討を行います。

市街地再開発事業として、本施設に加えて、「商業」、「事務所」、「住宅」などの施設を複合化することが提案されています。これらの異なる施設を整備予定地に効果的に配置するために、【施設配置の考え方】に考慮して、本施設の配置を検討します。

【施設配置の考え方】

- 周辺街区への賑わい誘導
- 象徴としての外観
- 高さへの配慮

【機能図】



6 施設整備事業費などの考え方 (P. 42~44)

【建設費及び概算整備費】

- 近年整備された文化芸術施設の建設事例によると、床面積1㎡当たりの建設費は約75万円程度(税抜)となっています。ただし、国土交通省が示す労務費単価の上昇や、東京オリンピック開催に伴う建設需要の高まりによる資材費の高騰などの要因により、今後変動していく可能性があります。
 - 新しい文化芸術施設は市街地再開発事業により整備された建物の一部を、市が保留床として取得するため、整備費は市街地再開発事業において算出される保留床取得額(*)となります。
- (*)保留床取得額とは、施設の建設費だけでなく、施設の整備に必要な経費の一部を含め、施行者から保留床として買い取るために必要な費用です。
- 整備費の財源として、有利な財源である合併推進債を活用し、実質的な市の負担軽減を図ります。なお、合併推進債を活用するために平成33年度末までの施設整備が必要となります。

【運営費等の考え方】

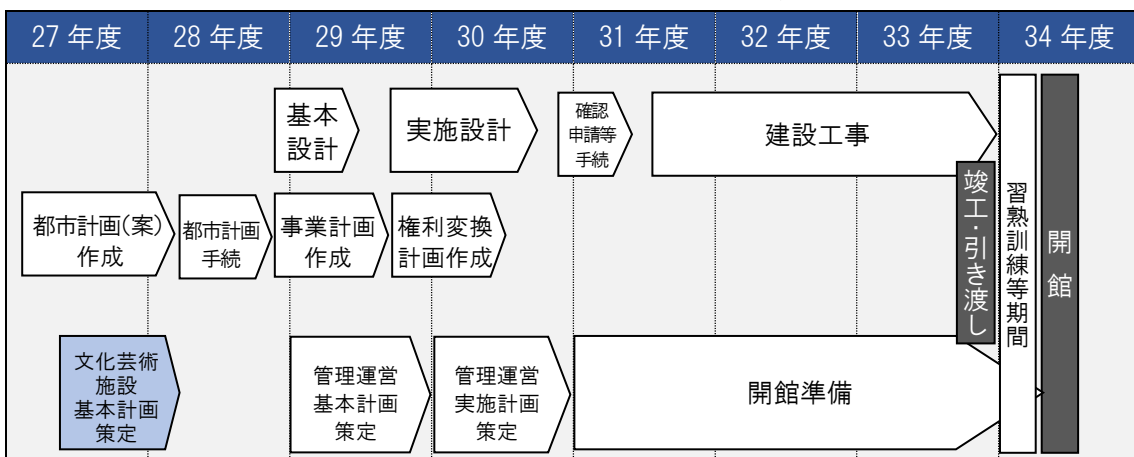
- 新しい文化芸術施設は、岡山市の文化振興施策を具現化させていくための拠点施設として運営します。市の文化事業を継続的かつ効果的に展開していくためには、一定の経費の支出(岡山市の将来に向けた文化への投資、文化を活かしたまちづくりへの投資)が必要となります。
- 事業や活動を継続的に行うためには、使用料収入や事業収入を高めることや、外部からの助成金などを積極的に得るなど、自己財源比率を高めるように努める必要があります。

収入の考え方	支出の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・使用料収入の確保 ・外部からの資金の確保などによる事業費における自己財源比率の向上 ・再開発施設全体としての営業活動による独自財源の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費 ・柔軟性の高い組織体制 ・効果的かつ効率的な維持管理の実践 ・複合化された施設としての必要経費

7 整備スケジュール (P. 45~48)

開館までのスケジュールは以下を想定しています。

文化事業は開館後の事業を視野に入れ、開館前から開始し、舞台設備は特殊な機能を備えることから、開館後の運営体制を踏まえ、できるだけ早期から専門性を備えた劇場・音楽堂等施設での業務経験を有する人材を配置し、開館までの業務を推進することが必要となります。事業や施設運営関連に関しては、今後、詳細な検討を行います。



【今後の検討課題の整理】

- 地域の活性化と継続的な賑わい創出に向けた検討
- 再開発施設としての検討
- 整備推進体制の構築
- 事業内容・管理運営の検討
- 公共交通からのアクセス性の向上
- 駐車場の検討
- 施設整備情報の公開と市民意見の聴取

参考資料 2 近隣類似施設の利用規則等

類似施設利用規則一覧

	施設概要(席数)	合築施設	管理運営者	開館時間	休館日	申し込み時期			連続利用			窓口受付時間	受付の順位	その他
						ホール	展示等	練習室・会議室等	ホール	展示等	練習室・会議室等			
【岡山市内 市立文化施設】														
岡山市民会館	大ホール(1,718)/会議室10	—	岡山市民会館 コンソーシアム	9:00 ~ 22:00	・年末年始(12月28日~1月4日) ・保守点検日	・12か月前の月の平日初日	—	・2か月前の月の平日初日 ※ただし、大ホールに伴う利用は大ホールと同時に可能	5日間	—	3日間	8:30 ~ 17:00	・月の初日8時30分までに来館。利用希望が重複した場合は協議または抽選(以降は先着順) 【抽選の優先順位】 ・市内 ・本番利用	
岡山市立市民文化ホール	ホール(802)/ギャラリー兼リハーサル室	福祉文化会館	直営	9:00 ~ 22:00	・毎週水曜日(水曜日が国民の祝日と重なった場合、その翌日) ・年末年始(12月29日~1月3日)	・12か月前の同日:文化団体 ・6か月前の同日:上記以外	・12か月前の同日:文化団体 ・6か月前の同日:上記以外	—	5日間	1週間	—	9:30 ~ 17:00	・利用希望が重複した場合は抽選(以降は先着順)	
岡山シンフォニーホール	大ホール(2,001)/イベントホール(200)/和風ホール(100人)/スタジオ1(120人)/スタジオ2(30人)	—	(公財)岡山シンフォニーホール	9:00 ~ 22:00	・毎月第2・4火曜日(火曜日が休日の場合は、その翌日) ・年末年始(12月28日~1月4日)	・大ホール:15か月前の月の初日 ・イベントホール・和風ホール:12か月前の月の初日	—	スタジオ1:12か月前の月の初日 スタジオ2:3か月前の月の初日	6日間	—	6日間	9:00 ~ 17:00	・月の初日9時までに来館。使用希望日が重複した場合は抽選もしくは話し合い(以降は先着順)	
西川アイプラザ	多目的ホール(260)/展示コーナー/会議室2	図書館/友好交流サロン	クラレテクノ(株)	10:00 ~ 20:00	・毎週月曜日 ・毎月第2日曜日 ・祝日(祝日が休館日にあたる時は翌日も) ・年末年始(12月28日~1月4日)	・社会教育関係団体、岡山市・岡山市教育委員会:12か月前 ・上記以外:6か月前	・社会教育関係団体、岡山市・岡山市教育委員会:12か月前 ・上記以外:6か月前	12か月前から受付:社会教育関係団体、岡山市・岡山市教育委員会が使用 6か月前から受付:それ以外	3日間	1週間	3日間	10:00 ~ 20:00	規定なし	・ホール、会議室使用時は21:00まで開館 ・土日の窓口受付時間10:00~18:00
岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)	コンベンションホール(720)/イベントホール(594)/レセプションホール/展示ホール/会議室9	—	(株)岡山コンベンションセンター	9:00 ~ 21:00	・年末年始(12月29日~1月3日)	・国際会議・全国大会など:随時 ・コンベンションホール、イベントホール(全面利用)、レセプションホール:15か月前 ・展示ホール:12か月前 ・コンベンションホール、イベントホール(1/2利用):3か月前	—	・301・405・407会議室:12か月前 ・401・402・403・404・406会議室:3か月前	規定なし	—	規定なし	9:00 ~ 17:00	規定なし	
岡山市立西大寺公民館	大ホール(807)/楽屋/講座室/研修室/料理講座室/視聴覚室/美術工芸室/談話室/和室	岡山市教育研究研修センター	直営	9:00 ~ 22:00	・水曜日 ・祝日(水曜日が祝日の場合は、その翌日も) ・年末年始(12月28日~1月4日)	・12か月前の月の初日	—	使用希望日の1か月前の応当日の属する月の初日(その日が休館日に当たるときは、その日後において最初に開館する日)	5日間	—	規定なし	9:30 ~ 17:00	規定なし	ホール以外は21:00まで
西大寺緑花公園体験学習施設 百花プラザ	多目的ホール(561)/控室1/控室2/研修室1/研修室2/実習室/美術工芸室/実技室/みどりの相談室/会議室/ふれあいルーム/和室1/和室2/談話ホール	岡山市立図書館/西大寺緑花公園緑の図書室	(公財)岡山市公園協会	9:00 ~ 21:00	・毎週月曜日(月曜日が祝日にあたる時は、翌日以降で休日を除く直近の日) ・年末年始(12月29日~1月3日)	・6か月前の月の初日:多目的ホール全面使用で開催準備に相当の日数を要する催し物 ・2か月前の月初:上記以外(原則3日前まで)	・6か月前の月の初日:多目的ホールと同時に使用する場合で開催準備に相当の日数を要する催し物 ・2か月前の月初:上記以外(原則3日前まで)	・2か月前の月初(原則3日前まで)	4日間	7日間:ホワイエ・談話ホールを展示目的で使用する場合	4日間	9:00 ~ 18:00	・月の初日9時までに来館。利用希望が重複した場合は協議または抽選(以降は先着順)	1時間単位
【岡山市内 県立文化施設】														
岡山天神山文化プラザ	ホール(270)/展示室5/会議室2/練習室5	—	(公社)岡山県文化連盟	9:00 ~ 22:00	・月曜日 ・年末年始(12月28日~1月4日)	・翌年4月~9月:9月初日 ・翌年10月~翌々年3月:12月初日	次年度利用を8月までに希望調査、10月に決定	6月・9月・12月・3月の初日(休館日の場合は翌日)に、6か月~9か月前先の施設予約についての抽選会を行う。	規定なし	1週間単位の利用を想定	規定なし	9:00 ~ 18:00	・月の初日9時20分までに提出。利用希望が重複した場合は協議優先 ・芸術・文化活動での利用優先 ・抽選(以降は先着順)	・展示室、情報センター:9:00~18:00 ・会議室9:00~17:00
おかやま旧日銀ホール(ルネスホール)	多目的ホール(298)/スタジオ/カフェ/ギャラリー//ワークルーム/スイートルーム2	—	NPO法人バンゴアーツ岡山	10:00 ~ 22:00	・火曜日(祝日の場合は、その翌日)	・18か月前(3か月前まで)	—	—	6日間	6日間	6日間	10:00 ~ 17:00	・先着順 重複した場合は、協議または抽選。	
【近隣公立文化施設】														
倉敷市芸文館	ホール(885席)/アジアター(200席)/会議室7/練習室2	倉敷市大仙名人記念会館	(公財)倉敷市文化振興財団	9:00 ~ 22:00	・毎週水曜日(国民の休日に当たる場合は、次の休日や土日に当たらない日) ・年末年始(12月29日~1月3日)	・12か月前の月の最初の開館日 ・練習目的利用:3か月前	—	・12か月前の月の最初の開館日 ・営業・宣伝目的で利用する場合は6か月前	6日間	—	6日間	8:30 ~ 17:15	・申し込みが重複した場合は、協議又は抽選。 演劇を目的とする利用が優先。	
倉敷市民会館	ホール(1,979席)練習室/会議室5/和室会議室2/大会議室兼展示室2	—	(公財)倉敷市文化振興財団	9:00 ~ 22:00	・毎週水曜日 ・年末年始(12月29日~1月3日)	・12か月前の月の最初の開館日	・12か月前の月の最初の開館日	・12か月前の月の最初の開館日 ・営業・宣伝目的で利用する場合は6か月前	6日間	6日間	6日間	8:30 ~ 17:15	申し込みが重複した場合は、協議又は抽選。	
津山文化センター	大ホール(1,054席)/会議室6/和室2/展示ホール	—	(公財)津山文化振興財団	9:00 ~ 22:00	・毎週木曜日(祝日にあたる時は翌日の平日) ・12月28日から、翌年の1月4日	・11か月前の月の初日	・11か月前の月の初日	・11か月前の月の初日	5日間	5日間	5日間	9:00 ~ 17:00	申請順	・展示室は1日単位
総社市総合文化センター	ホール(1,018席)/会議室6/練習室5	中央公民館/勤労青少年ホーム	直営	9:00 ~ 22:00	・毎週月曜日 ・年末年始(12月29日~1月3日)	・6か月前	—	・6か月前	5日間	—	5日間	8:30 ~ 17:00	申請順	
笠岡市民会館	ホール(902席)/会議室8/和室x2/展示室1	—	(一財)笠岡市総合福祉事業団吸江社	9:00 ~ 22:00	・月曜日(ただし、月曜日が国民の祝日にあたる時は、その翌日) ・年末年始(12月29日から1月3日)	・12か月前	・6か月前 ・笠岡市文化連盟所属団体及び市内NPO法人が行う文化事業:9か月前	・6か月前 ・笠岡市文化連盟所属団体及び市内NPO法人が行う文化事業:9か月前	5日間	5日間	5日間	8:30 ~ 17:00	設定なし	
里庄総合文化ホール(フロイデ)	大ホール(1,012席)/中ホール(350席)/会議室	—	直営	9:00 ~ 22:00	・火曜日(祝日にあたる時は、その翌日) ・年末年始(12月28日から1月4日)	・12か月前	—	・12か月前	6日間	—	6日間	8:30 ~ 17:00	申請順	
【岡山市内 民間施設】														
さん太ホール	ホール(300席)/ギャラリー	—	山陽新聞事業社	9:00 ~ 21:00	・年末年始(12月28日~1月4日)	・1年前の月の初日	・1年前の月の初日	—	規定なし	規定なし	—	9:30 ~ 17:30	—	ギャラリーの利用は1週間単位
Junko Fukutake Hall	ホール1(固定席210席)/ホール2(可動席99席)ホール3(可動席45席)/ commonsスペース/会議室/控室	—	岡山大学	8:30 ~ 17:15	・土曜日・日曜日・祝日 ・年末年始(12月29日~1月3日) ・その他学長が決めた日	・2年前の月の初日	—	・2年前の月の初日	規定なし	—	規定なし	8:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00	先着順	
岡山大学創立50周年記念館 金光ホール	ホール(409席)/会議室3/グレストルーム/控室/交流サロン	—	岡山大学	10:00 ~ 17:00	・土曜日・日曜日・祝日 ・年末年始(12月29日~1月3日) ・職員就業規則に定める夏期一斉休業が法人本部において実施される日 ・その他学長が決めた日	規定なし	—	規定なし	規定なし	—	規定なし	10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00	—	
三木記念ホール	ホール(303席)	—	公益社団法人岡山県医師会	9:00 ~ 21:00	・年末年始 ・臨時休館日	・12か月前	—	—	規定なし	—	—	9:00 ~ 17:00	—	
おかやま未来ホール	フラット形式(1,234席) スクール形式(400席) シアター形式(609席)	—	イオンモール岡山	9:00 ~ 22:00	—	・12か月前の月の初日	—	—	規定なし	—	—	10:00 ~ 18:00	—	・利用許可の審査あり

	施設概要（席数）	料金の考え方									
		減免規定	平日と土日祝の設定	市内・市外の設定	入場料設定による割増	営利利用の割増	延長利用料金設定	本番利用以外の割引	冷暖房費	その他	
【岡山市内 市立文化施設】											
岡山市民会館	大ホール(1,718)/会議室10	なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	別	直前割引あり(2か月前～)
岡山市立市民文化ホール	ホール(802)/ギャラリー兼リハーサル室	あり 認定された文化団体等	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	別	
岡山シンフォニーホール	大ホール(2,001)/イベントホール(200)/和風ホール(100人)/スタジオ1(120人)/スタジオ2(30人)	なし	あり	なし	あり	あり	あり	あり	あり	込み	
西川アイプラザ	多目的ホール(260)/展示コーナー/会議室2	あり 認定された社会教育団体	なし	なし	あり	なし(営利利用は認めていない)	あり	あり	あり	別	
岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)	コンベンションホール(720)/イベントホール(594)/レセプションホール/展示ホール/会議室9	なし	あり	なし	なし	なし	あり	あり	あり	別	
岡山市立西大寺公民館	大ホール(807)/楽屋/講座室/研修室/料理講座室/視聴覚室/美術工芸室/談話室/和室	あり 社会教育団体	あり	なし	あり	あり	あり	あり	あり	別	
西大寺緑花公園 体験学習施設百花プラザ	多目的ホール(561)/控室1/控室2/研修室1/研修室2/実習室/美術工芸室/実技室/みどりの相談室/会議室/ふれあいルーム/和室1/和室2/談話ホール	あり	なし	なし	あり	あり	あり	なし	あり	別	
【岡山市内 県立文化施設】											
岡山天神山文化プラザ	ホール(270)/展示室5/会議室2/練習室5	あり	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	別	
おかやま旧日銀ホール(ルネスホール)	多目的ホール(298)/スタジオ/カフェ/ギャラリー//ワークルーム/スイートルーム2	あり	なし	なし	なし	あり	あり	あり	あり	別	飲食を伴う場合の割増あり
【近隣公立文化施設】											
倉敷市芸文館	ホール(885席)/アイシアター(200席)/会議室7/練習室2	あり	あり	なし	あり	あり	あり	あり	あり	別	
倉敷市民会館	ホール(1,979席)練習室/会議室5/和室会議室2/大会議室兼展示室2	あり	あり	なし	あり	あり	あり	あり	あり	別	

参考資料 3 管理運営基本計画策定にあたっての取り組み

① 検討経緯

管理運営基本計画の検討経緯は以下のとおりです。

1 管理運営基本計画検討懇談会	
第1回	<p>■日 時：平成29年7月10日（月）14時～16時</p> <p>■議 題：</p> <p>(1) 懇談会メンバー紹介・あいさつ</p> <p>(2) 市民ワークショップ（第1回）の報告</p> <p>(3) 意見交換・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営基本計画について ・事業計画
第2回	<p>■日 時：平成29年8月22日（火）14時～16時</p> <p>■議 題：</p> <p>(1) 市民ワークショップ（第2回）の報告</p> <p>(2) 利用団体ヒアリングの報告</p> <p>(3) 意見交換・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回懇談会の検討項目の確認（追加意見） ・施設管理、運営計画 ・施設利用計画
第3回	<p>■日 時：平成29年10月25日（水）15時～17時</p> <p>■議 題：</p> <p>(1) 『管理運営基本計画（骨子案）について』</p> <p>(2) 市民ワークショップ（第3回）の報告</p> <p>(3) 意見交換・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画 ・組織体制 ・施設利用計画 等
第4回	<p>■日 時：平成30年1月23日（火）10時～12時</p> <p>■議 題：</p> <p>(1) パブリックコメントの結果報告について</p> <p>(2) 意見交換・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画、施設管理・運営計画 ・施設利用計画、収支計画、市民参加 ・次年度の管理運営実施計画策定に向けて 等

2 市民ワークショップ	
第1回	<p>■日 時：平成29年6月25日（日）14時～16時</p> <p>■テーマ：新しい文化芸術施設で実施する事業イメージを考えよう！</p>
第2回	<p>■日 時：平成29年8月5日（土）14時～16時</p> <p>■テーマ：新しい文化芸術施設の使い方を考えよう！</p>
第3回	<p>■日 時：平成29年10月14日（土）14時～16時</p> <p>■テーマ：市民参加を考えよう！</p>
3 シンポジウム	
名 称	<p>文化のクリエイティビティをまちづくりにいかす -「新しい文化芸術施設」管理運営基本計画策定に向けたシンポジウム-</p>
概 要	<p>■日 時：平成29年12月17日（日）14時～16時</p> <p>■場 所：岡山シティミュージアム 4階 講義室</p> <p>■パネリスト：</p> <p>津村 卓（上田市交流文化芸術センター館長／北九州芸術劇場顧問 一般財団法人地域創造プロデューサー）</p> <p>柁木 和敬（声楽家）</p> <p>大森 雅夫（岡山市長）</p>
4 芸術文化団体ヒアリング調査	
概 要	<p>■対 象：</p> <p>「岡山市芸術文化団体」に登録している団体（約190団体）のうち、岡山市民会館や岡山市立市民文化ホールを利用している団体を中心にヒアリング調査を依頼、回答のあった団体からご意見等をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査依頼対象団体：63団体 ・調査協力団体：21団体（うちヒアリングシートのみ提出2団体） <p>■日 時：平成29年7月19日（水）～21日（金）</p>

参考資料 3 管理運営基本計画策定にあたっての取り組み
② 管理運営基本計画検討懇談会メンバー一覧表

「新しい文化芸術施設」管理運営基本計画検討懇談会メンバー一覧表

(五十音順)

No.	氏名		所属
1	五島 朋子	ごとう ともこ	鳥取大学地域学部附属芸術文化センター教授
2	坂手 洋二	さかて ようじ	劇作家・演出家、燐光群代表
3	笹井 裕子	ささい ゆうこ	びあ株式会社 びあ総研 所長
4	田野 智子	たの ともこ	NPO 法人ハートアートリンク代表理事
5	津村 卓	つむら たかし	サントミュージゼ館長兼プロデューサー (一財)地域創造プロデューサー 北九州芸術劇場顧問
6	平井 優子	ひらい ゆうこ	ダンサー・演出振付家
7	榎木 和敬	まさき かずよし	声楽家
8	宮崎 刀史紀	みやざき としき	(公財)京都市音楽芸術文化振興財団 ロームシアター京都管理課長

○コーディネーター

草加 叔也	くさか としや	有限会社空間創造研究所代表取締役
-------	---------	------------------

参考資料 3 管理運営基本計画策定にあたっての取り組み
③ ワークショップ通信



新しい文化芸術施設 市民ワークショップ -管理運営基本計画を考える-

ワークショップ通信 vol.1

発行：岡山市

平成 29 年 7 月 10 日

6月25日（日）、岡山市市民会館大会議室にて、「第1回新しい文化芸術施設市民ワークショップ」が開催され、市民参加者25名、（女性12名、男性13名）、事務局スタッフ11名、合計36名が参加しました。

4班に分かれ、「新しい文化芸術施設で実施する事業イメージを考えよう！」をテーマに、新しい文化芸術施設での事業イメージについて検討を行いました。

■ 新しい文化芸術施設 市民ワークショップとは・・・

現在、岡山市では、岡山市市民会館・岡山市立市民文化ホールに代わる新しい文化芸術施設を、北区表町三丁目地区に整備する計画を進めています。昨年度は、施設の方向性を定める「新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画～集い、魅せる、つくる 躍動するまちを目指して～」を策定しました。

本年度は、新しい文化芸術施設で期待される事業や活動、運営についての方向性を定める、管理運営基本計画の策定を進めてまいります。その検討にあたり、市民の皆さまとご意見を出し合い、共に考えていく「市民ワークショップ」（全3回予定）を開催しています。

■ 第1回テーマ 「新しい文化芸術施設で実施する事業イメージを考えよう！」

第1回のワークショップは、「新しい文化芸術施設では、どのような事業が行われるとよいか？」をテーマに事業についての検討を行いました。

「新しい文化芸術施設にやってほしい事業」「新しい文化芸術施設でやりたい事業」の2つに分け、どのような事業がおこないたいのか、どのような文化芸術施設であってほしいか、を4班それぞれが議論し、ワークシートにまとめました。

それぞれの班で、事業や他館との連携、まちづくりも含めた視点からの意見、将来の文化芸術施設のあり方までを考えた意見など、実に多様なご意見が挙げられました。

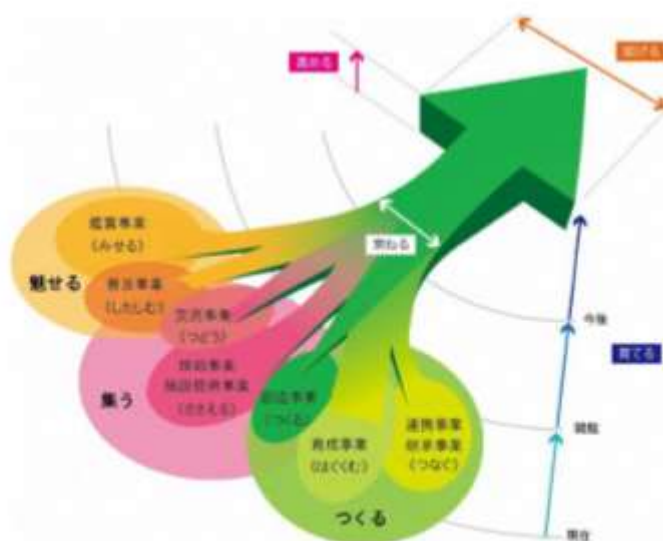
■ 新しい文化芸術施設の事業イメージとは？ -基本計画での整理-

基本計画では、新しい文化芸術施設は、「魅せる」「集う」「つくる」という活動を中心に事業を展開していくことが示されています。

それぞれの活動が有機的につながり、相互に連携し、さらなる創造的な活動や事業の展開を図ることにより、岡山独自の文化芸術を創りだし、国内外へ発信していく創造型の劇場を目指します。

（詳細は基本計画をご参照ください）

魅せる	鑑賞事業《みせる》 普及事業《したしむ》
集う	交流事業《つどう》 情報事業、施設提供事業《ささえる》
つくる	創造事業《つくる》 育成事業《はぐくむ》 連携事業、継承事業《つなぐ》



■ 各班でのグループワークの内容をご紹介します。

多くの人が活用できる文化芸術施設

「いかに多くの人々が活用できる施設となるかということが重要なのではないか、そのためにどう掘り起こしていくか」、という視点をもって議論されました。また直接利用しない人にとっても、「地域にとって自慢できる施設であること」の重要性が挙げられ、そうしたことも含む「活用」のあり方が話されました。



1
班

人が集まる文化芸術施設

「人が集まる施設であることが一番大事なのではないか」ということから、にぎわいの創出や商店街との連携など人を集める方策について多く意見が出されました。育成についても多く議論され、「将来的に地元の人で作品を創れるように」との目標をもった、先を見据えた育成の重要性についても話されました。



2
班



3
班

4
班



観ることからまちの魅力へとつなげる

「やりたいこと」と「やってほしいこと」から意見を広げ、育成や様々な場所との連携、アクセス、まちとのつながり、場の提供など、広く意見が出されました。また、「本物が地元でみられること」は大事なことであること、岡山という地域は地理的に高いポテンシャルがある、という点も触れられています。

開かれた文化芸術施設であるために

「新しくできる文化芸術施設は開かれた場所ではないといけないのでは」ということを中心に議論が進められました。「これまで市民会館に興味のなかった市民を呼び込むためにも、入りやすい場であることが必要」という観点から、周辺とのつながりを含めた環境づくりについて意見が出されました。

■ ワークショップのまとめと次回の検討

各班で様々な意見が交わされ、どの班からも周辺や商店街との連携、育成事業の必要性、そして「開かれた施設」となることの重要性が指摘されました。第2回の検討（8月5日（土））では、「どのような使い方をしたいか？」という視点から、利用規則の考え方について検討を行います。

【問合せ先】

〒700-8544 岡山市北区大供1丁目1番1号 岡山市市民生活局文化振興課(本庁舎7階)
TEL：086-803-1054 FAX：086-803-1763



ワークショップ通信 vol.1

■ 1班



創客/市民への発信広報/興味がない人をいかに呼び込むか/今まで来なかった人を来させる工夫

若い劇団公演

公演前後の交流会/ランチタイムコンサート/オープンロビーでのライブ(音楽演奏)

出前ワークショップ(学校)/保、幼、小、中、高へのアウトリーチ活動/アウトリーチ事業(教育)/劇団等・絵本朗読・朗読・保育園、学校

出前コンサート・施設(福祉)・病院

伝統文化・若手育成

毎年同じ学年、年齢で生の舞台に出会える招待事業

美術館、図書館との連携

絵画ミュージアム

演劇関係資料室

ESD 展示/6月29日岡山空しゅう展示

貸館事業のバランス/貸館事業つかいやすい/パフォーマンスを無料でさせる(部屋を借りずに)

地域のイベントなどと連携する/商店街とのタイアップ/企業とのタイアップ

県外の人が入りやすい仕組みづくり

坪田謙治文学賞に戯曲・脚本賞

■ 2班



【事業】

舞台芸術との社会包摂事業/障害者なども含めた多様な視点・劇場そのものの社会性・施設の色を/地方ではなかなか観られない演劇、中央の劇場と提携していく/劇団☆新感線のようなエンタテインメント性のある演劇やミュージカル/国内外の先駆的な舞台芸術、鑑賞事業/国際交流できる作品の招へい/必ず人が集まる事業。(企画しても人が集まなければ意味がない)/アーティスト・インレジデンス事業/学校から鑑賞のために来館する制度(林間学校みたいにある学年で必ず行うとか)/岡山からの創造発信事業/一年を通して毎日行われる公演/洋楽(ジャズ・ポップス)の普及事業/乳幼児でも一緒に観ることができる公演/ジャズフェスティバルの関係/音楽プロムナードの開催/文化・文学講演会・作家リレー

【育成】

まちづくりは人づくり/国内外の専門家によるワークショップ。(分野に限らず)・1週間くらいの時間をかけたもの/伝統芸術を長期間で学べる場/若手の育成と指導者になれる人材の育成と発表の場/いい人が来てもその人が帰ってしまうと残念なことになるのではなく人が育っていかないといけない/子供達に施設、舞台の仕事を知ってもらう(体験できる)事業/企画する人の力が大切/舞台の仕事ができる人を育てる/地方で芸術企画者が育っていくことにつながる事業/プロと市民が一緒につくる演劇、コンサート/専門家と勉強中の若手、市民と一緒に作品を創りながら学べる企画/プロの俳優による市民へのワークショップ/ソフト事業に関わる市民の組織を作る/夢をもって劇場にかかわっていきたくなる。・仕事となる/舞台美術・照明などが学び実施できる講座と作品創作

【他との連携】

岡山県とも連携し、一体的な運営事業計画/岡山県内の他館との連携事業→シンフォニーホール・天神山・市外のホールも

【情報コーナーの充実】

全国の舞台・公演・チラシが集まる情報コーナー+カフェ/情報コーナー・図書機能・ふるさと資料・文化芸術に特化したもの・お土産・特産品紹介コーナー/芸術に関するライブラリー/情報コーナーで芸術に関する人のネットワークづくり。・フリーペーパーをつくる

【にぎわい】

再開発事業の中で市民会館の位置づけは?・商店街との活性化と連動させていくのか・一集う、にぎわいにつながる/賑わいの創出・市民会館に集った人を商店街に回遊・オープンロビーの活用事業/商店街との施設連携(ライブハウス・音楽・カフェ・飲み屋関係がある店がこんなにかたまっているとこはない)せっかくなので、ホールはホールだけじゃない/表町など周辺の地域を巻き込んだ音楽のイベント開催/地域とどうコミットしていくか・岡山駅と離れているからこそできること/商店街を使った大道芸フェスティバル・岡山なので人形劇フェスなど・劇場外でできるイベント/千日前映画館街の歴史を踏まえた特色を示せたら/千日前にはライブハウスや楽器店の多い場所なのでそれを活かした。

各班が作成したワークシートの内容をすべてご紹介します。

■ 3班



【育てる・充実】
 同山市内の小学生・中学生を学期1回は鑑賞できる様に・4年生・山の学校、5年生・海の学校のように鑑賞学校/岡山が大好きになる・様はアクセスを・電車の団体利用等/育てる”の充実/”見る”と”つくる”とつなげる場が無い/例会(公演)に来る劇団(創造団体)と市民(学生、生徒、子ども)との交流(ワークショップ)/鑑賞活動など(観る、創る)の情報交換の場/全体のストーリーと理解出来る場を(例に鳥劇場)

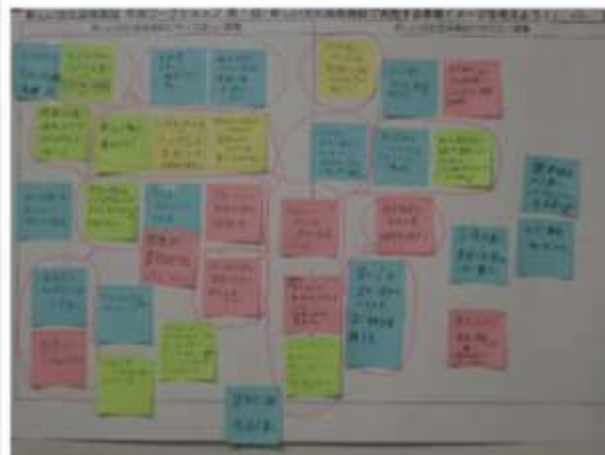
【まちとのつながり・交通】
 交通アクセスに配慮して欲しい/これはスゴイと思える物がひとつあれば・例、真鳥のかぼちゃみたい/”観る””創る””つくる””創る”も交通が課題/オーディションして街中で活動出来る様に/電車の中の活動事業も制約がある/”みたい”ものは交通がなくても行こうとする

【場の提供】
 東京・大阪でしか公演してない様な公演をする/「総合芸術」が身近に見れる場に/舞台をしっかり確保、リハーサル室も同じ広さを/情報コーナー/ピッコロシアターの様な戯曲集を集めては/フリースペースがあるといい/オープンロビーでの展示スペース/発表する場があると意欲が湧く/脚がいがいる方の表現の場の提供

【様々な立場の人との連携】
 商店街との協業(協力を)を持つ/まちのにぎわいに・繋がる場所に/積のつながり(活動団体)のきっかけを/親子で参加の鑑賞会/行政(教育)との連携事業の実現を

創造と現実/全てのコーディネートを施設で行うのは負担が大きい
 全国から人を呼べる事業/地理的ポテンシャルは高い/地元で”本物”を見る事業

■ 4班



長期間占有して練習できる場/舞台芸術以外の芸術創造の場・今岡山にない

情報収集、提供ができるようになってほしい!

高齢者を集めよう!ハンディキャップアーティストのオールブリュット・美術コーナーを常設して欲しい/日本にはハンディキャッパー740万人・家族を入れると3000万人・新しい市場がある

学生が参加できる「ストリートダンスフェスティバル」をやろう!!/文化策・大学生・交流スペース/学生のアートを発表する機会(創造する場)/学生が参加できる仕組みづくり

保育所をその内につくってほしい。/託児のこと・子供のスペース

文化芸術に関する情報をまとめて発信・紙、web

年に何度かは夜とおし使える施設

ミュージックアート Bar

学校公演⇔触れる機会を増やす⇔劇場公演

市民劇場の例会で来た劇団は1週間同山市に滞在しているので、その間に連携してイベント等ができないか。

芸術ではなく生活の場に

作品が外からでも見れる施設 衝動的/建物の外とロビーの動線がつづいているような劇場の周りの環境づくり/オープンロビーは誰でもいつでも自由に入出入りできるように・芸術に触れる、出会う機会をつくる

市民会館の行き詰まりは商店街をとおるような工夫が欲しい。とにかく外から見て内外が一体的になれる場所(事業)商店街といっしょになったファンクラブ(の事務局)/地元商店街の店主が講師のWS・月に1回とか・(今、表町で行っていることをこっちの劇場でやる)

高校演劇の発表の場(練習室の提供)

若い人が冷めているので食べ物を提供する

興味をつくる為に・パフォーマンスを日常に外でする。

子どもの為に年寄りも参加しない 舞台に

そして誰もいなくなった

展示スペース・書道、移動…etc・室内に入れない・ストリート的に

他分野交流事業(紹介)

子どもが文化芸術家(プロ)に出会える機会(旬の芸術家)



新しい文化芸術施設 市民ワークショップ -管理運営基本計画を考える-

ワークショップ通信 vol.2

発行：岡山市
平成 29 年 8 月 22 日

8月5日(土)、岡山市民会館大会議室にて、「第2回新しい文化芸術施設市民ワークショップ」が開催され、市民参加者22名、(女性10名、男性12名)、事務局スタッフ10名、合計32名が参加しました。

4班に分かれ、「新しい文化芸術施設の使い方を考えよう！」をテーマに、新しい文化芸術施設での利用規則について検討を行いました。

■ 第2回テーマ 「新しい文化芸術施設の使い方を考えよう！」

第2回のワークショップでは、「新しい文化芸術施設を皆が使うためには、どのようなルールを設定することが望ましいか」を話し合いました。「開館時間」「休館日の設定」「利用申込方法」「連続利用」「利用区分」「その他」の6つの項目にわけ、それぞれの項目について各班で話し合い、具体的に意見を出していきました。

ひとことで「利用者」といっても、利用のされ方は様々です。ホールで発表を行いたい人、企画を立てたい人、ホールは使わないけれども練習室は利用したい人、大スタジオでの小規模な発表を行いたい人など、「新しい文化芸術施設をどう使っていきたいのか?」「一部の人のみだけでなく、皆にとって利用しやすい施設のルールとはどのようなものか?」を考えながら検討を行いました。

■ ホール施設の利用のルールとは?

ホール施設には、利用者が安全・安心に混乱をまねかず利用するための「利用のルール」が定められています。どのような利用のルールが設けられているかは、ホール施設の役割や性格によって様々です。「新しい文化芸術施設」にふさわしい利用のルールを考え、設定する必要があります。

開館時間	施設が開館している(利用できる)時間の設定です。決められた開館時間の他、朝早い利用や夜遅い利用などの際は、延長を可能とすることで利用者の利便性を高めることも考えられます。
休館日の設定	施設が休館している日です。「休館日をなしとすると利用者がいつでも利用できる」「定期休館日を設け、設備のメンテナンス等に考慮する」など、それぞれに長所・短所があります。
利用申し込み方法	ホールや諸室を利用するための申し込み方法の設定です。「利用日の何年・何ヶ月前から申し込みできるか」「市民や団体、大規模な大会などでの利用の場合の優先的な申し込みはあるか」「利用したい日が重なった場合には抽選で決めるか、申込み先着順での受付とするか」など細かなルール設定が必要となります。それぞれに長所・短所があり設定がとて難しい部分です。
連続利用	ホールや諸室を何日間まで借りることができるかの設定です。ホールでの公演利用の他、スタジオで作品を創る場合には長期的に借りることができるようにするなど、それぞれの使われ方に配慮して設定する必要があります。
利用区分	ホールや諸室を利用する際の時間設定です。ホールは短時間での利用は想定しにくいいため午前・午後・夜間の3区分で貸している施設が多いですが、スタジオや練習室は1時間単位の貸出設定を設け、短時間の練習などでも利用しやすくする工夫なども考えられます。

■ 各班でのグループワークの内容をご紹介します。

「文化芸術」のための施設

練習利用は24時間対応、練習室は利用時間を長く、申込み変更が1回のみ可能にするなど、柔軟性をもったルールづくりがより多く提案されました。

文化芸術団体の利用や興行利用など、催しもの内容によって利用申し込み時期に差をつけるなど、文化芸術を重視した施設としてのルール設定が望まれるといった意見が出ました。



1班

2班

諸室にあったルールづくり

優先的に予約ができる方法について、興業的な利益を目的とした利用よりも市民や芸術文化での利用を優先にするという案がだされました。「大ホール・中ホール・大スタジオのすべてに同じルールを適用しているのか？」など詳細な使われ方を想定した議論がされました。減免制度の考え方についても触れられました。



3班

4班



まちづくりとの関係性に考慮したルール

利用の申し込みについてインターネット・TEL・FAXなど、利便性の高い提案がされる一方、「顔の見えない相手に予約を許可していいのか」という心配も指摘されました。

施設イメージの確立や商店街との関連事業・年末年始は開館しイベントを行うなどユニークな提案もされました。

運営協議会・利用者懇談会の設立

“何をめざす施設か”によりふさわしいルールが変わってくるという指摘がされました。館の職員・利用者が共通認識をもち、問題を解決するための運営協議会や利用者懇談会の設立も提案されました。

施設の職員が働く体制への配慮も求められました。

■ ワークショップのまとめと次回の検討

どの班からも共通して「柔軟性を持ったルールにすること」が求められました。また、「柔軟性をもったルールで運営するための職員体制」に対する懸念も示されました。今後、よりいっそうの検討を続けていく必要があります。第3回の検討(10月14日(土))では、「市民参加を積極的に推進し、市民ができること」を考え検討を行います。

【問合せ先】

〒700-8544 岡山市北区大供1丁目1番1号 岡山市市民生活局文化振興課(本庁舎7階)
TEL: 086-803-1054 FAX: 086-803-1763



ワークショップ通信 vol.2

■ 1班



【開館時間】

- ・ 9～22
- ・ 9～22(前後 2H 延長可)
- ・ 通常は 9:00～22:00 特例として時間外または 24 時間(深夜)
- ・ 練習室は 24 時間利用も可とした

【休館日の設定】

- ・ 年末年始
- ・ 年末年始しか休まないための人的手当が必要
- ・ スタッフは不定期で休む
- ・ 情報コーナーなどは年末年始以外はあけている

【利用申込方法】

- ・ 基本的には、利用団体登録をして、インターネット予約を可能にするべき!
- ・ 文化芸術は 12 か月前、その他利用は 8 か月前、利用申込を分ける
- ・ 施設の目的にかなった事業内容(文化芸術)について優先予約をすること
- ・ 自主事業で優先予約をする場合は、説明責任をはたす必要はある。
- ・ ホールは、12 か月前に予約できるようにしたい。
- ・ 13 か月前予約でもよい。
- ・ 実績のある文化芸術団体は優先利用を認める

【連続利用】

- ・ (優先的に)市民会館 4 日 市民文化ホール 6 日

【利用区分】

- ・ 練習室 1 時間単位、長時間優先
- ・ 大中ホール、大スタジオは 3 区分利用
- ・ 利用者団体会議

【その他】

- ・ 一度だけはキャンセル料なしで日程変更できるようにする。
- ・ ホール利用者は、練習室も優先利用できるようにする。
- ・ 窓口受付時間 仕事帰りに手続きができるようにしてほしい。18 時 or 19 時くらいまで。

■ 2班



【開館時間】

- ・ 昼公演 14 時間演が多い
- ・ 開場、開演 今は 18:30, 18:45 開演が多い
- ・ 仕込みリハーサルが必要
- ・ シンフォニー 2～2.5h, 市民劇場 2.5～3h, 子どもセンター 1～2h(の上演時間が必要なので、閉館時間を逆算して開演時間を決める必要がある)
- ・ 開演前に待てるスペースがないので開場を早くする必要はある
- ・ 3 時間の公演は終わりが 21 時頃。公演中に出る方もいます。
- ・ 9 時 繰り上げ可。22 時まで延長可
- ・ 超過料金払うのは仕方がない

【休館日の設定】

- ・ 定期 or 不定期
- ・ 休館日はどの曜日でも使い分けるので問題ない
- ・ 同じ曜日が休みだとその曜日が休みの人はホールに来られない。
- ・ 労務管理 稼働率に影響
- ・ 保守管理は必要
- ・ 年末年始休み

【利用申込方法】

- ・ 優先予約
- ・ 施設の目的に合致した利用を優先
- ・ 枠をもつける? or 目的に合致すれば無制限?
- ・ 主催団体が誰かで判断するしかないのでは?
- ・ 市民劇場、子ども団体 優先予約できてほしい(現文化ホール)
- ・ 調整 or 抽選 or 先着順
- ・ 15 か月前から受付

【連続利用】

- ・ ホールに関しては 6 日間
- ・ 特に上座をもうけなくてもよいのでは?

【利用区分】

- ・ ホール 1 日単位、午前、午後、夜間
- ・ 創造支援エリア、使う例は 1 時間単位が使いやすい
- ・ ↑インターバルが必要(施設管理)

【その他】

- ・ 減免問題
- ・ 岡山市民を優先予約するのが良い

各班が作成したワークシートの内容をすべてご紹介します。

■ 3班

【開館時間】

- 9～22 時前後 1 時間ずつ延長をみとめる。曜日や本番にもよる
- 9～22 時。早朝 8 時。深夜片づけなら
- 9～22 時。前後 2H も可能な。搬入、搬出の時間必要
- 地域との連携により開館時間は変わる。例えば市民会館のコンサートのアフターイベントをコンベンションホールで開催。よって商店街を通り活性化するので、周囲にテナントが増える。
- 開館時間 9 時～22 時 30 分

【休館日の設定】

- 休館日なし
- 年末年始
- 定期的な休館日が必要だと思いますが、フレキシブルに考えてもらえたら
- 年末年始を休まない。浅草公会堂的な新春の催事を考える
- 年末年始に出かける場所のひとつにホールがあればよいと思う
- 特定の曜日が休館日に固定されないように

【利用申込方法】

- ネット、電話、FAX 等多いほうがいい
- 24 か月前も認める。創作の場合 1 年間ではムリ
- 予約日はその月の 1 日がダメだった場合の変更ができるのでいい。
- 優先的に申し込める団体？(文化関連など)もあれば
- 12 か月前。市民 13 か月前。ネットの利用申込では使用者の実像が見えないおそれがある

【連続利用】

- 練習室に関しては長期、尚かつ格安
- 連続使用は特例を認める(ロングランなど)
- 大、中ホール 7 日。スタジオ 1 か月。
- 6 日～7 日間
- 経験豊富な方の意見に賛同したいと思います。

【利用区分】

- 岡山市立の学校に関しては 100%減免。岡山市内の私立学校についてもある程度減免
- 多様性を重視
- フレキシブルに。時間も団体も
- 3 区分 午前、午後、夜間ベース

【その他】

- Bar カウンターなど設ける。幕間外に出て行って軽く食事ができるライブハウスで役者がアフタートークするとか
- 指定管理者制度はやめてもらいたい。直営で専門の芸術監督をおく
- ライブツアーのお楽しみのツアートラックの駐車スペースが欲しい。ファンはその前で記念撮影
- 楽しさが増える仕組みを
- 施設イメージを確立？
- 岡電と催事の共通点を見つけて Event を企画。電車の中でコンサート、寸劇イベントがある時は電車の運行時間を延長したり臨時電車を出してほしい
- 地方都市に足りないサブカルチャーを含んだ施設を。立地もふさわしい場所
- 館によってはスモークマシンなどを使用できない所があるので、利用可能にできるようにしてほしい
- 利用者に合わせた使用料を設定
- 機材の使用料がどのくらいになるか不安なので、込みの料金の方も選べるようにしてほしい。

■ 4班

【開館時間】

- ホールは 9～22 時。延長 23 時まで。スタジオ 9～22 時
- 公演後、撤収のための時間で午前 2 時までかかったことがある
- 歌舞伎などで午前 10 時からの公演があると 8 時くらいから準備をしないといけない
- 延長利用は受益者負担に基づき料金負担をいただき対応する※労務管理の問題あり

【休館日の設定】

- 年末年始と保守点検日でもいいのではないかと
- 労務管理(管理者側)の視点から考えると定期的に休みがあった方がいいか？
- 行事によって例外あり
- 管理者側に相当な人を確保しておく必要がある

【利用申込方法】

- 新しい文化芸術施設で新しく「創造」を求めていくのであれば市民優先とかは必要ないのでは？オープンにすべきでは？
- 市内登録団体を優先するという考え方もあるがルールの定め方が難しい
- 先着順にすると何日も前から並ぶという事例もある。抽選がいいのでは？
- スタジオを本番利用する場合はホールと同じ 1 年以上前から申込可能。練習として使う場合 6 か月前(先着順)
- 市民(市内)と市外を区別
- 登録団体優先
- 営利と非営利
- 12 か月前の月の平日初日(市民会館の方法)

【連続利用】

- 6 日連続公演を企画しようとした時、ホールを押さえられなければ困る
- 実体のない連続予約不可

【利用区分】

- ホールは 3 区分
- ホールや練習室を 1 時間単位にしてもらえると使いやすい
- 冷暖房は 1 時間毎

【その他】

- 指定管理者が変わるとルールが変わる？わかりづらい
- 利用者や運営側と協議する場「運営協議会」みたいな組織が必要
- 諸空間の動線の問題。区分分けによってスタジオ等本番利用制限ができる
- 託児室や障害のある人などが鑑賞できるようなスペースが必要
- 当面直営(社会包摂事業)指定管理ではムリ
- 備品セットプランを設定する
- 利用者懇談会
- 運営協議会



10月14日(土)、岡山市民会館4F大会議室にて、「第3回新しい文化芸術施設市民ワークショップ」が開催され、市民参加者14名、(女性9名、男性5名)、事務局スタッフ7名、合計21名が参加しました。

3班に分かれ、「市民参加を考えよう！」をテーマに、新しい文化芸術施設で、自分たちはどのようなことができるか、どのようなことをしたいかについて検討を行いました。

■ 第3回テーマ 「市民参加を考えよう！」

第3回ワークショップでは、「自分たちの文化芸術施設とするために、どのような関わり方ができるか」「市民と新しい文化芸術施設と一緒にできることは何か」を話し合いました。

岡山県内や全国のホールや劇場で、既に取り組みされている市民参加の事例などを参考に、「新しい文化芸術施設」における市民参加の方法を考えていきました。

■ 「市民参加」とはどのようなものがあるの？

岡山県内や全国のホールや劇場で既に取り組みされている市民参加の事例をご紹介します。

色々なホールでの市民参加を参考に、「新しい文化芸術施設」での市民参加を考えていきました。

鑑賞者としての参加	<p>ホールが主催する公演の鑑賞</p> <p>ホールで作品を「鑑賞」することも重要な市民参加のひとつです。多くの方が鑑賞することがホールを経済的に循環させ、主催事業の充実や施設の有効活用へとつながります。鑑賞者を対象とした「友の会」などの組織を持ち、公演情報の案内や先行予約などの特典をつけることもあります。</p>
参加型事業への参加	<p>舞台作品への参加 ・ 体験型事業への参加</p> <p>ホールが制作する市民参加型事業に、出演者やスタッフとして参加します。市民参加型事業も様々なものがあり、プロのアーティストを中心に市民が部分的に参加するものから、市民だけで全てを創りあげていくものもあります。舞台作品だけでなく、講座やワークショップなどの体験型事業への参加も考えられます。</p>
運営への参加	<p>ボランティアとしての参加</p> <p>講習会などでホールのボランティアに必要な知識を身につけ、事業や運営に参加します。ボランティアといっても、無償に限られているわけではありません。有償でのボランティアやサービス券の提供、ポイントによって主催事業が鑑賞できるなど、特典をつけることも考えられます。</p>
事業企画・推進役としての参加	<p>企画制作や運営の実施 ・ 複数の市民組織との連携</p> <p>市民自らが文化芸術活動を創造・推進するため、ホールのニーズにあった事業を企画し、運営・実践していきます。企画の実施には専門的な知識が必要となるので、企画の実施とあわせ、事業の実施や舞台技術、ホール運営に関する勉強会や養成講座等の実施が望まれます。</p>
評価への参加	<p>アンケートやインタビュー ・ 運営評価委員会</p> <p>ホールの運営や事業に対して、市民の目線から評価を行います。アンケートやインタビューに答えるといった比較的簡易なものから、運営評価委員会などの組織にてホールの設置目的や理念に沿った運営が行われているかを総合的に検証・評価していくものまで、様々な関わり方があります。</p>

■ 各班でのグループワークの内容をご紹介します。

1班



「市民参加」の目的を考える

事業への参加から市民が推進役となって評価や事業企画を行うという、「浅い所から深い所まで」の参加のあり方を考えるアイデアが、たくさん出されていました。

『「市民参加」の目的は、市民参加を通じて新しい文化芸術施設を考えること、そうすることでより良いホールへとになっていく』という考えのもと、岡山で活動している劇団や長年続いている鑑賞会との連携など、既にある繋がりを活かした提案がありました。

2班



岡山の人材を育成・起用する

単発ではなく、数年にわたりしっかりと時間をかけ、出演者はもちろん、演出や音楽なども市民が担当し、将来的には全国へと発信する市民参加作品を創作する。関連して、ワークショップや評論を行っていくという提案が出されました。

また、坪田譲治文学賞戯曲部門の設立、障がいをもった子どもたちに向けた取り組み、エキストラでの出演、裏方塾の開催など、具体的な企画についても意見があげられました。

3班



多様な関わり方がホールの発展につながる

「新しい文化芸術施設には市民参加が絶対に必要！」という考えのもと、入り口を広くし多様な関わり方ができるボランティアや、「これならできる！」という市民を集め、関わり方を考えていくボランティアコーディネーターの養成など、仕組みづくりからの提案が出されました。また、今までなかった市民の関わりを推進したり、土壌を開発するためには、今から開館するまでの期間が非常に重要だという意見があげられました。

■ 新しい文化施芸術設 今後の予定 平成34年度の開館にむけて

今年度は、「管理運営基本計画」の策定に向けて、6月から3回の市民ワークショップを開催しました。

それぞれ「事業」「利用のルール」「市民参加」をテーマに話し合い、岡山市の「新しい文化芸術施設」のイメージや将来像が少し見えてきたのではないのでしょうか。

第3回の議論では、様々な意見が挙げられましたが、特に「利用者懇談会」や「運営協議会」、「評価委員会」など、「市民が積極的に新しい文化芸術施設に関わっていく！」というご意見が多数挙げられました。

次年度（平成30年度）は、今年度に引き続き、「管理運営実施計画」として、より詳細な管理・運営のあり方について検討を行います。今後も、市民の皆さまと共に考える機会を設けていきます。

「管理運営基本計画」については、今後、パブリックコメントやシンポジウムを開催する予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。

【問合せ先】

〒700-8544 岡山市北区大供1丁目1番1号 岡山市市民生活局文化振興課(本庁舎7階)
TEL：086-803-1054 FAX：086-803-1763



ワークショップ通信 vol.3

■ 1班



【運営への参加】

- ・才能のある個人、団体に仕事を発注する。
- ・搬入ボランティア、搬出ボランティアをすることで舞台芸術への親和性を高めていく！
- ・市民運営委員会をつくる(市民目線で考える)

【参加型事業への参加】

- ・ジャンル別コンテスト型応募
- ・劇団員によるワークショップを行う。

【市民参加の目的】

- ・市民参加の目的—いい観客をつくる。
- ・劇場を知る!考える!

【鑑賞者としての参加】

- ・鑑賞者を増やすための直前割引

【評価への参加】

- ・利用者懇談会の実施
- ・協議会、懇談会の実施
- ・事業評価、運営評価、管理評価

【事業企画推進役としての参加】

- ・稽古場の助成に、市民が公募で参加する。
- ・会場利用の直前割引を検討
- ・劇団ひびき、ドラネコ座と一緒に事業を創っていく。
- ・岡山市HPでジャンルごとにコンペ形式で前年度に募集する。

■ 2班



- ・障がい児(者)が周囲に気がねなく鑑賞できる公
- ・ロビー・エントランスなどで展覧会(作品展示)、異

- ・親子室、バリアフリー室→(進化させて)→バリア
- ・障がい者や高齢者(認知症の方なども含めて)
- ・劇場付の役者やスタッフ(アマチュア)を集めてお
- ・シアターとかゴールドシアターのような若者や高1
- ・24時間使えるけいこ場や工房

- ・公募ミュージカル2年に1回程度。脚本だけで
- ・(振付)・web・舞台美術など多岐に渡る公募
- ・公募、ストレートプレー、ミュージカル同様のコン
- ・学校(岡山市内)芸術鑑賞への補助も兼ねた上
- ・岡山発の作品づくり中央へ
- ・地元の照明家、音響などのWS
- ・ホールを使用して長期に
- ・批評(家)の育成・評価をする
- ・WSの開催 座学、ボイストレーニング、ダンス、
- ・他劇場の研究(研修)公募(北九州、名古屋、富
- ・ある程度、商業劇場的な利用も活気があって自
- ・とが必要です。

- ・朗読、紙芝居、福祉施設、病院、アウトリーチ
- ・エキストラとして出演とか
- ・足ながおじさんプロジェクト 障害(知的・身体)・
- ・ホールスタッフ、舞台スタッフ、スタジオ工房、ス
- ・劇る、坪田譲治文学賞戯曲、脚本部門
- ・利用者・劇場制作者の協議会設立

- ・運営協議会絶対!
- ・裏方塾、音響、照明他ネットワークづくり
- ・地域ですでにある芸術文化活動の支援
- ・運営評価委員会
- ・学生の文化活動の後押し
- ・運営に参加するボランティアのための講座教育

各班が作成したワークシートの内容をすべてご紹介します。

ワークショップ第3回「市民参加を考えよう！」2 班



施設でやりたいこと・できることを考えましょう！

できる公演
 展示、障がい者理解の一環となるような
 →バリアフリー公演
 含めて)
 :集めておいては？さいたま芸術劇場のネクスト・
 記者や高齢者の

本だけでなく、演出・アドバイザー・音楽・ダンス
 5公募
 策のコンセプトで
 兼ねた上演

ダンス、演技
 (古屋、富山オーバードホール、金沢芸術村)
 あって良いと考えます。規則に柔軟性を含ませるこ

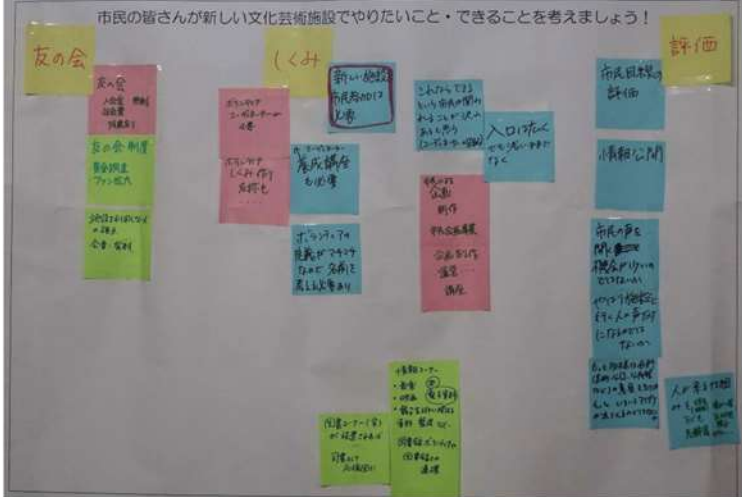
リーチ

・身体)、一人親とか
 工房、スタッフの養成

講座教育

■ 3 班

新しい文化芸術施設を考える市民ワークショップ第3回「市民参加を考えよう！」3 班



- 【友の会】**
- ・友の会:入会金無料、年会費、特典あり
 - ・友の会制度、資金調達、ファン拡大
 - ・施設を利用しない人の視点
 - ・会費:有料
- 【しくみ】**
- ・ボランティアコーディネーターが必要
 - ・ボランティアしくみ作り名称も
 - ・新しい施設に市民参加は必要
 - ・ボランティアコーディネーターの養成講座も必要
 - ・ボランティアの定義がマチマチなので名前を考える必要あり。
- 【評価】**
- ・市民目線の評価
 - ・情報公開
 - ・市民の声を聞く機会が少ないのではないか。
 - ・やはり施設に行く人の声だけになるのではないか。
 - ・もっと多様な分野(美術、公園、公民館など)の意見をきけばもっといろいろなアイデアが出てくるのではないか。
 - ・人が来る仕組みを大学生(中学生)・子ども・高齢者・障がい者・乳幼児・親子 etc...
 - ・これならできると市民が関わることが沢山あると思う(コーディネーターの采配)。
 - ・人口は広く、でも浅いままではなく。
 - ・市民による企画・制作・市民企画事業・企画制作・運営...講座
 - ・情報コーナー(音楽、映画、本、電子資料、舞台芸術に関する資料整理など)
 - ・図書館ボランティアや図書館との連携
 - ・図書コーナー(室)が設置されれば...、司書として応援団に!

参考資料 3 管理運営基本計画策定にあたっての取り組み
④ シンポジウム実施報告

文化のクリエイティビティをまちづくりにいかす —「新しい文化芸術施設」管理運営基本計画策定に向けたシンポジウム— 実施報告

1. 実施概要

1. 趣 旨

平成 34 年度開館に向け、千日前地区に整備を進めている「新しい文化芸術施設」。岡山のまちづくりに文化芸術をどのように活かしていくのか、文化拠点として「新しい文化芸術施設」に求められる具体的な事業や組織のあり方について、検討懇談会のメンバーである実演家、施設運営の専門家それぞれの視点から語っていただき、今後の岡山に望まれる施設運営を探ります。

2. 日 時 平成 29 年 12 月 17 日（日）14 時～16 時（開場 13 時 30 分）

3. 場 所 岡山シティミュージアム 4 階 講義室

4. 来場者 約 50 名

5. 次 第

（1）開会挨拶

岡山市長 大森 雅夫

（2）基調対談

津村 卓（聞き手：草加 叔也）

（3）パネルディスカッション

パネリスト

■津村 卓

上田市交流文化芸術センター館長／北九州芸術劇場顧問
一般財団法人地域創造プロデューサー

■榎木 和敬

声楽家

■大森 雅夫

岡山市長

進行：草加 叔也（（有）空間創造研究所 代表）

11. 基調対談（津村氏）

- 25 年前（一財）地域創造のプロデューサーに就任した時に日本の芸術文化はすごい勢いで動き出そうとしていると感じた。そこからの日本の社会の変化とそれに沿った文化芸術の変化の勢いは、非常に大きな変化をもたらしてきたと思う。
- 10 年先、20 年先を見据えてコンセプトをつくって進めてきたつもりだが、最近では変化のスピードに追い付いていないように感じる。今は、芸術文化が社会にどれだけ貢献できるかが突きつけられていると思う。
- 北九州芸術劇場では、劇場と地域との協働事業として、多様な施設や機関、企業や団体とパートナーシップを組み、舞台芸術の持つ創造的な力を活かした事業に挑戦している。夜景クルーズ、モノレール、動物園、美術館、航空会社、サッカークラブなどとのコラボレーション、高校生や障がい者の方との共同制作、地元の演出家などと組んでのアウトリーチ、市場でのアーティスト・イン・レジデンス、鉄の街としてのデザインプロジェクトなど。
- 北九州市は製鉄で栄えたまちであり、“ものづくり”のDNAのようなものがあり、“作品をつくる”ことに関してワクワク感を持っている市民や新しいものをつくっていくことを受け入れる人が多かった。
- 作品をつくる活動として、地域の文化資源を活用した作品づくりから世界に通用する質の高い作品づくりまで、多彩な創造活動に挑戦している。例えば、世界的な活動を展開している『山海塾』との共同プロデュース事業では、北九州芸術劇場の名前が世界各地の公演においてクレジットされるので、劇場の知名度・格を高めるとともに財産となっている。地元の高齢者から話を聞き、「まちの記憶」をモチーフに新たな戯曲をつくる事業は、若手劇作家の育成事業として行っている。インタビューを機に元気になる高齢者もあり、喜ばれるが、福祉事業でなくあくまでも芸術事業として展開している。
- 幅広い人に観てもらえる旬の作品のように黒字になる公演も必ずつくることを経営として進めており、その他の事業が展開できる原資とできるようにしている。



111. パネルディスカッション（津村氏、柁木氏、大森市長）

【劇場・新施設の果たすべき役割について】

- 岡山にも北九州のようなアイデアや事案はあるが、個々でやっており、規模が小さい。文化団体や活動は沢山あるが、市内の各ホールがやっている事業も含め、横のつながりが無い。ホールが、いろいろな人間が関わる企画を出して各団体が関わるとか、ホールがコラボレーションする企画とかで束ねることで、今までの経験を集約し、実績を活かした活動にしていくことができるのではないか。新しい施設がその核となれば、組織的にいろいろなことができると思う。（柁木）
- 北九州芸術劇場は計画当初に“劇場としてまちにどういう存在理由として維持していくのか”という目的とミッションを明確にした。企業とのコラボなど当初は考えなかったが、社会や文化芸術が進化して、今やアウトリーチなども当たり前ものになっている。まちと向き合うということに関しては、どうしたら市民やまちが劇場を信頼してくれるのかということに時間と労力をかけた。行政の目的とミッションがぶれなかったことが大きく、ちゃんと駒を進めていくことができた。（津村）
- もう1点は、人材育成がうまくできたことが大きい。大きな演目をやったり、自分たちで作品をつくることでしか、スタッフのスキルは上がらない。作品をつくるのは経費が掛かるが、それを人材育成のための投資と考えるべき。そうしないと、東京から人を呼び続けなくては、劇場を運営していけない。劇場を運営する人材を地元で育てて、最終的には地元の人材で運営していかないと地域の劇場にならない。10年、15年かかるかもしれないが、運営のプロを育てていくためにどれだけ投資できるのか、誰がどのように経営者として劇場をつくっていくのが重要。（津村）
- おかやまマラソンのアンバサダーである山口衛里さんに、「(マラソンは)走りだすと病みつきになる。」と言われ、実際走るとその通りとなり一つ楽しみを見つけることができた。文化芸術も同じで、全く触れないと、好きも嫌いもないが、触れてみると楽しみになったり、専門的な人材に育っていくことが多いと思う。金沢の21世紀美術館では、小学生が授業の一環で必ず美術館に行き、そこでいろいろ議論を交わしたりすると聞いた。子ども達だけでなく大人も含めて、何か一緒に文化を創造していくことをシステムチックに組み込むようなことができれば、少なくとも人生において楽しみを見出していくことが大いにあると思う。（市長）



- 北九州芸術劇場に行った際に、職員が演劇に対してすごく誇りを持っていた。岡山市でも新しい文化芸術施設が機能することで新しい誇りを生んでいくのではないか。(市長)
- どういう入口を作ってあげることができるのかというのは難しい問題だが、現在、北九州芸術劇場では、席数や場所を決めて高校生は1,000円で公演を観られる、ということをしている。小学生にはアウトリーチという形で演劇や舞台芸術を提供するなど、それぞれ方法論を変えながら進めている。(津村)

【岡山、中国地方の状況について】

- 紹介された統計データは、自分の出演頻度と一致し納得する。岡山出身の演奏家はいるが、岡山で企画がなく出演できる場が少ない。広島は公演数も多く、企画も良いオペラ公演はあるが、市が大きすぎて事業の方向性が浸透せず集客できていない。岡山はオペラ公演をすればだいたい満員になるし、集客力がある。オペラはバレエ、オーケストラ、コーラスなどいろんな要素が入り、ヨーロッパでは総合芸術と言われる。その分お金はかかるが、(ホール・スタッフの経験になるので)ぜひ取り組んでほしい。(柁木)
-
- 北九州芸術劇場で事業をやっている中で、兵庫県立芸術文化センターより以西で演劇に真剣に向き合い活発に進めているところはないと感じていた。文化庁の特別支援を受けているのも兵庫県立芸術文化センターより以西は北九州芸術劇場しかない。どのようにネットワークを組んで一緒にやっとうかと考えていた。中国地方は、決してツアーを回しにくい地域ではないはずなのに、旬の面白い公演があまり行われていないのは、受け皿がないからだと思う。演劇だけで言えば、ちゃんと向き合えば中国地方のトップになれることは目に見えている。ただし、しっかりとした受け皿をつくるのが前提。世界的、国内でもトップクラスの公演も来ることになると思うので、それをどう活かしていくかを考えていくことが必要。(津村)
 - 北九州は工業の衰退していつているまちであることが面白いと思った。海外でもフランスのナントなど工業の衰退していつているまちが芸術のまちが変わった事例が多くある。工業都市が面白いと思うのは、ものをつくるという事を知っているからである。商売のまちでは、ものを作るときに、安いものを高く売ろう、お金がかかることはやめよう、という考えになる。どちらが良いかは政治が選ばよいことだが、岡山は中四国でトップの劇場を作れると思っている。(津村)

【劇場・新施設ができることによってどう変わっていくか】

- (北九州芸術劇場が) 開館後 15 年間で、取り立てて変わったところはないが、毎年実施しているアンケートに書かれている声が元気になっているのは感じている。劇場のある周辺だけのこともかもしれないが、企業や商店街の人たちが元気になり、2 代目 3 代目が次の展開を考え、商店街のシャッターが開いてきた。市全体については(劇場が影響を与えるのは)なかなか難しいと思うが、外部から評価を受けることが刺激となって、元気になってきたイメージがあるし、いろんなことにチャレンジしようという若者が増えていると感じる。また、芸術を志向する人の定着率が高くなった。東京に行かなくてもこのまちで演劇やっているほうが楽しいと思う人が増えてきているということだが、サービス業がもっと増えないと難しいので、今は産業改革の方にいろんな手を出していつている。



(津村)

- 私の海外の拠点であるミラノはイタリアで一番の大都市で、そこにあるスカラ座は世界的に有名な伝統あるオペラの劇場だが、住民はスカラ座にオペラを観に行くことは多くない。しかし、劇場には行く。なぜなら、おいしいカフェがあったり、近くにおいしいレストランやおしゃれなものを売っている店があるからで、劇場の周りにそういう場所があってリンクすることで芸術が文化になり人に定着していくと思う。イタリアのマントバの近くにあるブスコルド市立歌劇場はまちの中心にあるが、毎日開いていない。しかし、カフェ(バル)は毎日開いていて朝から晩までまちの交流の中心になっている。劇場は人間が人間と交流する場だと思う。新しい文化芸術施設でも、稽古場に様々な文化団体の人たちが出入りして、その人たちが周辺のカフェや飲み屋で飲んだり、打ち合わせしたりして、人が行き来することで、商店やサービス業がまた出来たり・・・。そういう意味で新しい施設だけ良くしても立ちいかないとと思う。幸い千日前という土地柄があるので、ヨーロッパの劇場のように、周りリンクして一緒に育っていければ理想的だと思う。(柗木)
- 木村尚三郎氏が都市の魅力を三つ挙げており、一つ目は安全安心、二つ目は食事、二つ目に挙げているのが歩く楽しさである。やはりまちとして歩く楽しさというのは大変重要だと思う。魅力がないと歩いても退屈だし、歩くのに何らかの目的が必要な時もある。新しい文化芸術施設は、ここへ来て練習したり、終わった後にカフェで飲んだり、まちの魅力や歩く目的になるような役割を果たして欲しい。普段から行って楽しむ、友人と周辺で遊ぶ、お年寄りから子どもたちまで集える

拠点にしたいと思っている。(市長)

- 劇場はいろんな人が集う場所で、そこに演目があり、楽しんで感動する。劇場は、公演を観る人だけが来るところではなく、いろんな職業、年齢層の人が集いコミュニケーションが取れることが一番重要なこと。そのための環境をどう作るかを考えないといけない。劇場は『ある』ものでなく『なる』もの。成長した時に初めて劇場になることを考えると、どうやって成長するのかというストーリーが生まれるのだと思う。そのためのスタッフ数50名は最低の人数。北九州芸術劇場は、新しい施設より小さくても74人いる。育成された人材が岡山のまちへ出ていくことによる効果やメリットをふまえ、人数をどう考えるかということ。安全安心という面からもスタッフ数は必要だと思う。歩きやすい道は技術で作れるが、歩きたい道は芸術文化でしか作れない。岡山の道が、物語のある歩きたい道になっていけば良いと思う。(津村)
- イタリアは、(先ほどの)都市の魅力が三つ揃っていて、歩いて楽しいまち。私は岡山ではあまり歩かないが、イタリアに行くとき歩くので痩せる。歩きたくなる道があると良いと思う。(柁木)
- 演者側から見ると、自分たち出演者は替わりが効くが、スタッフはそうはいかない。岡山でオペラ公演があまりできないのは、スタッフがおらず、スタッフを東京・大阪から呼ぶ経費が出演者より掛かるから。岡山で人材を育成できれば簡単である。岡山出身で東京・大阪で舞台関係の仕事をしている人間は多いが、岡山に職場がないから、そちらにいる。新しい施設ができ、そういった人材が帰ってきて舵を取ってくれば、メイドイン岡山の良いものができると思う。何とか実現したい。(柁木)
- 歩きたくなるまちというのは、まちを楽しむということだと思う。市民だけでなく、岡山に来られた方に歩きながら楽しんでもらうためには、そこに歴史と文化がないといけないと思う。岡山には一つ一つ見ると光っている歴史は沢山ある。そういうものを我々の誇りとして、また今まで築いてきた文化も誇りにして、今を楽しんで新たなものをつくっていく。そういうまちにしていきたいと思う。
(市長)

■パネリストプロフィール

津村 卓（つむら たかし）

1985年より大阪ガスの扇町ミュージアムスクエアを企画し、副支配人兼プロデューサーに就任。87年より兵庫県伊丹市の伊丹市立演劇ホール（アイホール）チーフプロデューサー。95年より財団法人地域創造芸術環境部プロデューサーを務める。97年から00年にびわ湖ホール演劇プロデューサー、03年より北九州芸術劇場プロデューサー、01年より長崎市文化アドバイザーを務める。07年より彩の国さいたま芸術劇場評議員。08年より北九州芸術劇場館長、現在顧問を務める。15年から上田市交流文化芸術センター・セントミュージゼ館長。

榎木 和敬（まさき かずよし）

声楽家。藤原歌劇団正団員。国立音楽大学声楽科卒業。エウロペア音楽アカデミープロフェッショナルコース修了（イタリア）。国際ロータリー財団国際親善奨学生としてイタリアに留学。スロヴェニア国立ルブリアーナ歌劇場で歌劇「椿姫」でデビューし、イタリアを始めヨーロッパ各国でオペラ公演に出演。日本でも全国で数々のオペラの主演テノールや、ベートーベン第九演奏会、宗教曲のソリストとして多数出演する。

地元岡山ではおかやま国際音楽祭や岡山フィルハーモニック管弦楽団主催のコンサート、オペラ「ワカヒメ」やルネスオペラシリーズの主演テノールなど多数出演する。

福武教育文化振興財団文化奨励賞、マルセンススポーツ文化振興財団文化賞受賞。

平成28年社会生活基本調査
 「第14-1表 都道府県、趣味・娯楽の種類別（行動者率－男女総数(10歳以上)」

分類	行動分野	行動者率		全国順位
		岡山県 (%)	全国平均 (%)	
鑑賞	演芸・演劇・舞踊鑑賞(テレビ・DVDなどは除く)	↓ 12.4	14.5	19位
	音楽会などによるクラシック音楽鑑賞	↓ 7.9	10.1	32位
	音楽会などによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞	↓ 11.8	13.7	26位
	楽器の演奏	↓ 10.3	10.9	15位
活動	邦楽(民謡, 日本古来の音楽を含む)	↓ 2.4	2.9	34位
	コーラス・声楽	↓ 2.4	2.8	23位
	邦舞・おどり	→ 1.6	1.6	30位
	洋舞・社交ダンス	↓ 1.0	1.4	34位

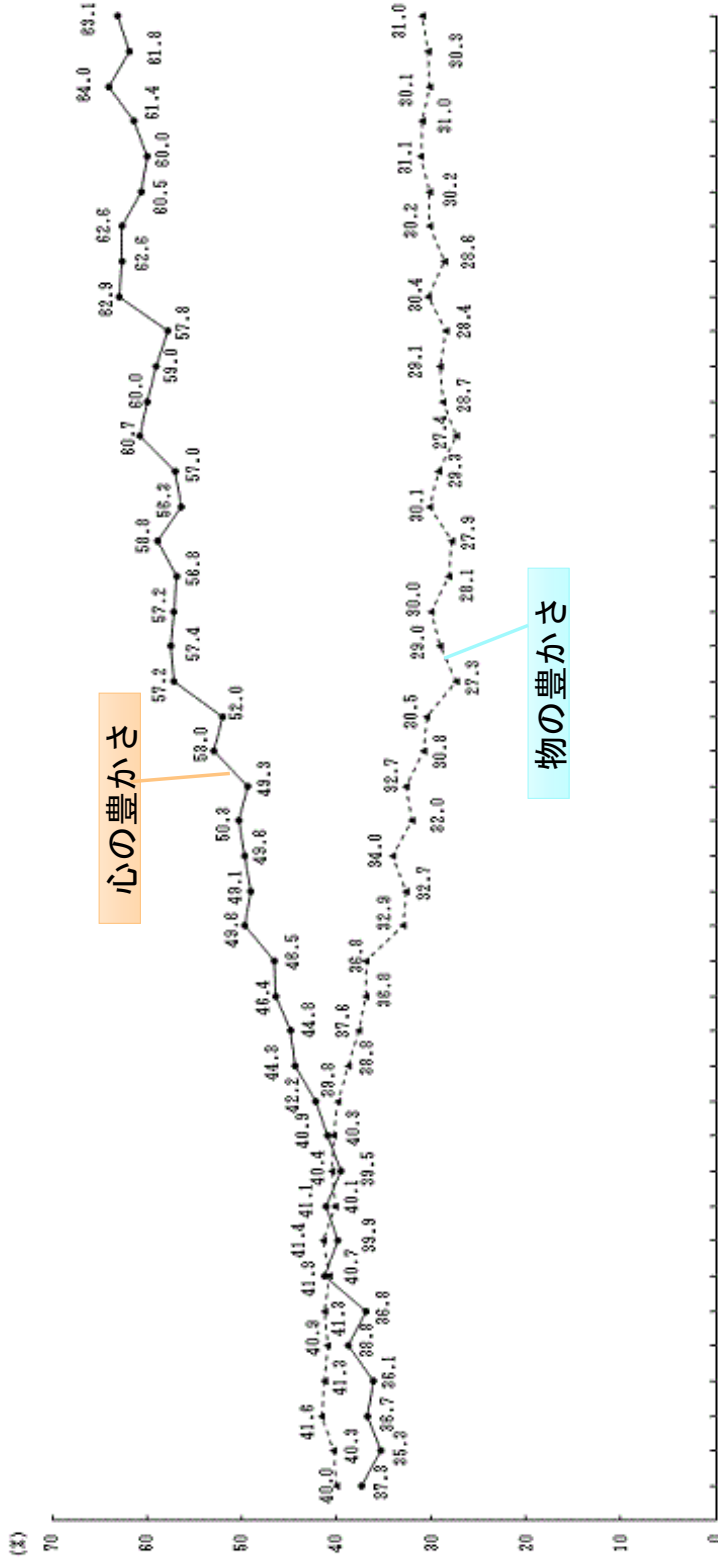


平成28年社会生活基本調査
 「第14-1表 都道府県、趣味・娯楽の種類別（行動者率－男女総数(10歳以上)」

都道府県	娯芸・演劇・舞踊鑑賞 (テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	音楽会などによるクラシック音楽鑑賞	音楽会などによるボブ・フォーク・音楽・歌謡鑑賞	都道府県	楽器の演奏	都道府県	音楽(民謡、日本古来の音楽を含む)	都道府県	合唱・声楽	都道府県	利用・おどろ	都道府県	洋舞・社交ダンス
全国	14.5	10.1	13.7	全国	10.9	全国	2.9	全国	2.8	全国	1.6	全国	1.4
東京都	22.2	14.6	18.0	東京都	14.3	東京都	3.2	東京都	3.9	東京都	1.6	東京都	1.9
大阪府	16.7	9.6	13.6	大阪府	10.0	大阪府	2.8	大阪府	2.9	大阪府	1.6	大阪府	1.7
福岡県	13.0	9.3	12.5	福岡県	9.7	福岡県	2.9	福岡県	2.6	福岡県	1.8	福岡県	1.6
岡山県	12.4	8.7	12.4	広島県	10.6	広島県	2.8	高知県	2.6	高知県	2.9	山口県	1.4
広島県	12.4	8.5	11.8	岡山県	10.3	鳥取県	2.6	岡山県	2.4	広島県	1.8	香川県	1.3
香川県	11.4	8.2	11.7	鳥取県	9.6	鳥取県	2.4	香川県	2.3	香川県	1.7	愛媛県	1.1
鳥取県	11.4	7.9	11.2	山口県	9.5	岡山県	2.4	鳥取県	2.2	高知県	1.7	徳島県	1.0
徳島県	11.0	7.8	10.4	徳島県	9.5	山口県	2.2	広島県	2.2	岡山県	1.6	岡山県	1.0
愛媛県	10.6	7.7	10.3	香川県	9.5	愛媛県	2.2	鳥取県	2.1	鳥取県	1.5	広島県	1.0
山口県	10.4	7.6	10.0	鳥取県	9.3	愛媛県	2.1	山口県	2.1	愛媛県	1.5	高知県	1.0
愛媛県	9.7	7.6	9.9	愛媛県	8.3	香川県	1.9	愛媛県	1.9	徳島県	1.4	徳島県	0.8
高知県	8.4	6.3	9.7	高知県	7.9	高知県	1.8	高知県	1.6	山口県	1.4	高知県	0.7



これからは「心の豊かさ」か、まだ「物の豊かさ」か（時系列）



(注) 心の豊かさ → 「物質的」にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさを伸ばすことに重きをおきたい
物の豊かさ → 「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」

出典：内閣府「国民生活に関する世論調査」

©空間創造研究所

参考資料 3 管理運営基本計画策定にあたっての取り組み
⑤ 芸術文化団体ヒアリング調査について(まとめ)

「新しい文化芸術施設」管理運営基本計画に関する 芸術文化団体ヒアリング調査について（まとめ）

1. 芸術文化団体ヒアリング調査の概要

（1）調査の目的

本年度、「新しい文化芸術施設」管理運営基本計画を策定する予定であり、その計画のなかで、新施設で実施する事業や施設運営の考え方などについて取りまとめる予定であり、実際の文化施設利用者や芸術文化団体等からご意見等をいただき、本基本計画策定の参考とするため、ヒアリング調査を実施。

（2）ヒアリング調査の対象団体

現在、「岡山市芸術文化団体」に登録している団体（約 190 団体）のうち、岡山市民会館や岡山市立市民文化ホールを利用している団体を中心にヒアリング調査の依頼（H29.7.6 付）をし、回答のあった団体からご意見等をいただいた。

- ・調査依頼対象団体：63 団体
- ・調査協力団体：21 団体（うちヒアリングシートのみ提出 2 団体）
- ・ヒアリング参加人数：28 人

（3）調査の日時

平成 29 年 7 月 19 日（水）～平成 29 年 7 月 21 日（金）

（4）調査の開催場所

西川アイプラザ（岡山市北区幸町 10-16） 4 階 第 2 会議室

（5）ヒアリング調査の項目

- ① 日常の活動（練習・稽古など）について
- ② 発表活動（展示発表会・舞台発表会など）について
- ③ 岡山市民会館について
- ④ 岡山市立市民文化ホールについて
- ⑤ 新しい文化芸術施設について など

2. 新しい文化芸術施設及び文化活動に係るヒアリング（抜粋）

Q17 新しい文化芸術施設のホールは、どの程度の頻度で利用することが考えられるか。

■ 大ホール(約 1,700 席)について【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：17 団体】

年に 1 回	5
年に 2 回(連続 4 日×2 回)程度	1
1 年または 2 年に 1 回	1
5 年に 1 回程度(記念演奏会)	1
合唱フェスティバル：年 1 回 合唱コンクール中国大会：5 年に 1 回	1
50 年に 1 回	1
記念公演	1
音響効果（質のよい反響板を設置）の改善、トラック等での楽器搬出入エリアの十分な確保、バスの乗降や留め置き場所の確保、一般車両の駐車確保、楽器搬出入用 EV や来客用 EV の利便性の確保、階段やエスカレーターの設置と安全確保、世界基準のバリアフリーの設置などに取り組んでいただければ利用する可能性は高くなると思います。現時点では判断できない状況です。	1
企画次第のため未定	1
興行的なものは、1700 以上のキャパがなければ利益がでにくい企画（という風にうまく企画料が設定されてくる）企画が多いので、これ以下のキャパであればできるだけ利用したい。	1
全国大会などの規模の発表会があれば（利用の可能性はある）	1
利用しない	2

■ 中ホール(約 800 席)について【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：14 団体】

年に 1 回	4
年 2～3 回	2
年に 4 回(連続 6 日×4 回)程度	1
5 年に 1 回	1
条件が合えば 2～3 年に一度、県大会や中国大会で使用させていただければ、と思っています。	1
合唱コンクール岡山県大会：年 1 回 アンサンブルコンテスト：年 1 回	1
定期演奏会、毎年	1
音響効果（質のよい反響板を設置）の改善、トラック等での楽器搬出入エリアの十分な確保、バスの乗降や留め置き場所の確保、一般車両の駐車確保、楽器搬出入用 EV や来客用 EV の利便性の確保、階段やエスカレーターの設置と安全確保、世界基準のバリアフリーの設置などに取り組んでいただければ利用する可能性は高くなると思います。現時点では判断できない状況です。	1
企画次第のため未定	1
ほぼ使わないと思われます。	1

◆ ヒアリングでの聴取意見(大ホール・中ホール共通)

- ・ 大ホールに音響反射板がないのであれば使わない。
- ・ ある程度の音響性能が確保されていなければ使えない。大ホールに音響反射板がないのであれば利用できない。
- ・ 中ホールは演劇向きというのであれば使いたい。
- ・ 催し物により会場を選択するようになるのではないかと。選択する際に料金は大きな要素。
- ・ 小劇場では、大・中ホールの利用については、そこまでの規模ではないと思う。県外から招へいする

場合ではあるかもしれない。

- ・ 日曜が朝早く開館し、昼公演が間に合うのであれば、日曜日、月曜日と連続して利用の可能性はある。
- ・ せっかく新しい施設ができるのでぜひ利用したい。
- ・ 映像設備や音響設備など、何が備えられており、何が使えるのかという点で利用を決めるだろう。
- ・ 中ホールは営利目的では黒字にならないので利用できない。

Q18 新しい文化芸術施設の練習室等は、どの程度の頻度で利用すると考えられるか。

■ 【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：15 団体】

週 1 回程度	1
週に 2~3 回程度	1
1 年に 1 回	1
会議室として利用可能なら、月に 2~3 回程度。	1
本公演前に数回	1
企画次第のため未定	1
・ 連盟としての利用は通常はないと考える。 ・ 周年事業等で合同合唱を企画した場合は月 2 回程度利用させていただきたい。ただし収容人数が 150 人、200 人程度の練習室がある場合。 ・ リハーサル室は、大ホールと中ホールのステージと同じ大きさの物が 2 つは欲しい。	1
施設の料金が安いと利用すると考えられる。	1
全国大会、2~3 年に一度の県大会や中国大会にかかる使用を日程内で使用させていただきたい。	1
・ 条件が合えば毎週 1 回程度。 ・ 状況に応じて年 4~5 回。	1
部屋の大きさ、料金、駐車場の有無等によりますが、公民館と同程度の状況であれば、月に 2 回程度だと思います。	1
舞台サイズが大ホールと同じ練習室であれば発表会前に月 2 回程度	1
練習室のサイズ感や利便性がまだよく解らないので、現時点では何とも言えない。	1
どのようなものができるか不明なので、現時点では判断できない状況です。	1
使わない。	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ 大会ではホールと併せて利用することになると思う。
- ・ 発表利用で使うかはわからないが、(大スタジオは)公演可能な設備があることが重要。
- ・ 定期的に利用できるのが理想だが、他団体の利用希望もある。また料金設定にもよる。
- ・ 大スタジオは、メンバーのアンサンブル公演などでの利用可能性はある。
- ・ 練習室は、かなりの頻度で利用すると思う。
- ・ 色々な用途で使えるように、色々な広さの練習室があると使い勝手が良い。
- ・ 現在は大スタジオのサイズの練習室がなかなかない。
- ・ 岡山市で練習しているので、条件にもよるが使う可能性がある。
- ・ 練習室はあまり使用しないが会議室はよく使うだろう。
- ・ 活動をしている人は練習場所に困っているので、日常の練習の場として利用したいという要望が強いのではないか。
- ・ 楽器が置けなければ練習利用できない。

Q18-2 練習室等には小規模公演などで利用できる室（100席程度）を計画しているが、発表で利

用すると考えられるか。またその頻度はどの程度か。

■ 公演などの発表で利用すること【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：16 団体】

有る（10）	10
無い（6）	6

■ 公演などの発表利用があると考えられる場合の頻度【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：11 団体】

年に1回	1
年に2回	1
年に2～3回	2
年に2～3回程度、ワークショップも入れれば年4～5回程度	1
年数回	1
学校単位で公演に利用する可能性があります。	1
既存の練習施設のような予約制度の場合と練習→公演が連動した連続利用の場合では異なってくる。	1
気が向いたら	1
？	1
団体としては今のところないと思います。	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ 料金などの条件によるが、規模的には望ましい。
- ・ 大スタジオは、アイプラザ 250 席があるので、同じであると意味はない。明るい内装の小さい小屋はあるが、ブラックボックスがない。
- ・ 大スタジオは使いやすければ使う可能性はある。今は、他に場所がないから県立美術館ホールを使っている。
- ・ スタジオの練習利用は料金次第。
- ・ 大スタジオは、使えると思った。条件にもよるが、規模的にはありがたい。
- ・ 料金が安ければ練習利用で利用したい。
- ・ 演劇をやる場合、舞台装置を建て込んだ状態で連続一週間の利用ができれば全然違う。

Q19 新しい文化芸術施設の運営ルールについて、希望すること。

■ ホールの開館時間、休館日の希望について【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：12 団体】

・ 開館時間は、9 時～22 時を基本にし、その前後 2 時間も可能に。 ・ 休館日はなしに。	1
9：00～22：00 早朝、延長料金の加算額が高すぎる。	1

利用時間は9時から22時、早朝開館のできるルールも必要かと思ひます。区分割は、他のホールを研究していただけたらと思ひます。	1
開館時間：9時から22時 利用者の希望に沿うように変更可能 休館日は月2回程度 シンフォニーと同じ休館日にならないように設定	1
基本は9時～22時でしょうが、柔軟に対応されたい。	1
10:00 開館 22:00 閉館	1
・水曜日の休館日 ・閉館時間22時	1
・早朝7時～有料貸出 ・22時以降～有料貸出対応	1
他のホールと同様の扱いをお願いいたします。	1
必要により早朝や夜間の利用	1
休館日は、なるべく少なく、早朝や夜間の利用などができるようにしてほしい。	1
岡山市民会館の現状でいいと思ひます。	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ 大会を行う日は、日のスケジュールが詰まっているので、楽屋だけでも朝早く8時から利用できるとありがたい。
- ・ 演奏会を行う場合、リハーサルのために前日も施設を予約するので、9:00～22:00であれば問題ない。
- ・ 演奏会前日リハーサルで押さえるので、よほどのことがないと通常の時間内で大丈夫。
- ・ 公演で使う場合では9時開館がありがたいが、練習室では朝は使わない。
- ・ 公演をする場合に継続して6日以上使うことはない。定期休館日は週の前半にあると良い。人件費のことを考えると定期休館日はあったほうがいい。
- ・ 現在も1時間くらいは延長して使っている。朝、夜それぞれ1時間くらい延長できると良い。
- ・ 料金が安い施設では前日も借りることもあるが、概ね1日のみの利用。1日で終わらせる場合、朝8:00から使いたい。舞台をつくるのに3時間くらいかかり、昼公演の場合、リハーサルが短くなる。夜公演は、バスの時間などを気にして、みな早く帰りたがる。
- ・ 休館日は関係ない。お客さんのことを考えると土日しか使わない。
- ・ 夜は1時間くらい延長できるとありがたい。すごく困っているわけではないが、そういう声は聴いている。
- ・ 「休館日なし」と事前記入シートに書いたが、利用の希望に応じてフレキシブルに対応してほしいという意味合いで書いた。
- ・ 基本の開館時間は9～22時で希望があれば延長対応をとれる体制にしてほしい。
- ・ 朝7時半から延長利用ができるとありがたい。
- ・ ホールの休館日はないと職員が大変なのであったほうがいい。
- ・ 時間ぴったりじゃないと開館しないので、10分前頃には施設の中には入れるとよい。
- ・ 楽屋口は早く開けてほしい。
- ・ 休館日でもスタッフがあまりいなくていい内容のものであれば、休みでも受けて少しでも黒字になるようなことを考えたほうがいい。(例えば電気や機械を切る程度のこと)

■ ホールの利用申込のルールについて【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：15団体】

施設利用の調整についての新しいルール作りが必要。	1
今までと変わった方がよい。	1
・新市民会館、新文化ホール共に、芸術文化団体の申し込みの優先。 ・連続使用の場合の優先。	1
毎年の定期公演日は優先していただきたい。	1
現在、市の行事などは優先的に扱われているようですが、教育活動の一環で開催されるフェスティバ	1

ルやコンクールなどにも同じような配慮が必要かと思われます。	
<ul style="list-style-type: none"> ・一般6ヵ月前から受付。 ・岡山市認定文化芸術団体1年前から受付。 ・当該施設の主催事業や市長（が認める催しへの配慮） ・芸術監督の配置 ・プロデューサーによる自主企画事業には創造型劇場としての専権事項を設ける。 	1
申し込みは1年前の月初め（1日） 他の施設より優先したければ1年半前でも良いのでは。 （他施設と）同じ抽選日というのは困る。	1
1年前からの予約で、岡山市の団体について優遇されること。	1
市の芸術祭など利用の時の優先	1
・市内市外規定は、あまり大きな差を設けないでほしい。	1
岡山市芸術文化団体の場合は、優先的に使用させて頂ければと思います。（予約時期を一般より早くするなど。）	1
抽選方法をわかりやすく、明確に。	1
毎年開催する催時の優先使用	1
岡山市民会館の現状でいいと思います。	1
施設利用決定を2年～3年前位に、利用計画が立てられる様にお願いしたい。 特別ゲストをお願いする場合、日程調整が難しい様子。	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・利用者としては、県立、市立等は関係ない。どの施設が何時申し込まないといけないか、施設ごとに覚えておかないといけない。
- ・調整や抽選の場合、1登録団体一人とか参加できないと限らないと不公平になる。
- ・借りの手続きが分かりにくいことが多く、わかりやすい方がいい。同じ市の施設であれば同じルールが良いと思う。抽選日は重ならないほうが良いかもしれない。
- ・抽選はお互いさまで仕方ない。
- ・ホールの目的に沿った利用を優先してほしい。その後に営利目的のものを受け付けてほしい。
- ・利用者の希望が重なったときに利用調整ができれば、お互いに融通できる可能性があるのだよい。
- ・毎年利用している芸術団体の利用を優先してほしい。
- ・今は長く申し込んだ団体が優先されるルールのホールもあり、例えば土曜日に利用したくても金曜日からの利用をすると通る。結局経済力の強い段階が有利にならないように。

■ ホールの利用料金について【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：16団体】

施設使用料の減免	4
<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化団体の利用料減免。 ・全体も可能な限り安く。 	1
登録団体への減免や補助	1
<ul style="list-style-type: none"> ・営利・非営利による峻別や入場料金による課金制度など ・岡山市認定文化芸術団体の減免や共催・協働公演による減免措置など 	1
安いに越したことはない。 市内の団体であれば割引を（倉敷市）。 文化団体・社会教育団体・生涯学習団体等の割引はもちろんある？	1
岡山の団体が使う場合の減免	1
市民使用の場合減免	1
・市内規定や減免規定で、「県立」を市内並に見なして欲しい。	1
岡山市芸術文化団体に対しての施設使用料の減免	2
減免できるのであれば、申請書等面倒な書類はできるだけなくし、利用規定の中で明確にしておけば、	1

手間も省けると思います。工夫することで経費を少なくし、基本利用料金を極力抑えていただきたい。	
出来るだけ現状維持で…。	1
基本料金の支払いの時期、金額は以前より安い方が良い。	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ 財政的に厳しいので、高いと利用できない。
- ・ 備品使用料は、全部含んだ金額設定が高額になるならば、個々に借りられて節約するようになる。
- ・ 催しの内容によりどの備品を利用するかが変わるので、ホールの利用料金と備品料金は別途のほうがよい。
- ・ 冷暖房料は、躯体が大きければ大きいほど経費が掛かるので別のほうが良いかもしれない。ギリギリまで冷暖房を入れないで極寒や暑い中仕込みということはある。効くまで時間がかかることもあり、早めにつけておかないと、となると時間がかかる。
- ・ 減免料金を設定してほしい。
- ・ 利用が入ってないときに練習をする場合や、本番を利用する団体は練習利用が半額などにならないか。
- ・ 多少料金は高くても、使い勝手がよい、便利で事業が運営しやすいという満足感があれば利用するだろう。
- ・ ホール3区分の間のインターバルを、前後に利用する人がいない場合は1時間単位での延長料金で対応してほしい。
- ・ ホールを18時半までしか利用しなかった場合にも20時まで(1区分)の利用料金がかかるのは納得できない。その場合時間割にしてほしい。
- ・ プロモーター料金と市民料金(営利と非営利)は別にしてほしい。
- ・ 電気代など別料金の場合があるが、ホール利用料金に混みの設定になり高い水準に均されるのであれば、利用分だけ支払ったほうがよい。もしくは、全部混みの料金設定にして使わなかった分は割引などにできないか。

■ ホール 予約時期について【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：14 団体】

1年前に予約できると良い。	1
現市民会館同様、1年でいいと思う。	2
岡山市の団体は、市外より早く予約できると嬉しい。	1
市内の団体優先で。	1
毎年定期事業の優先予約を	1
12ヶ月から15ヶ月前に予約ができればありがたいです。	1
利用料金について ・ 営利・非営利による峻別や入場料金による課金制度など ・ 岡山市認定文化芸術団体の減免や共催・協働公演による減免措置など	1
同じ主催者が同じ大会を毎年開催する場合は優先権を与えて欲しい。	1
岡山市芸術文化団体の場合、優先的に使用させて頂ければと思います。(予約時期を一般より早くするなど。)	1
市の認定団体とその他の団体との区別は今以上にあつてよいのでは。最低12か月以上。企画によっては24か月先でも予約できるシステムもあつてよいと思います。	1
優先予約制度があれば	1
事前に公共で押さえないように、あくまで民間主体でよろしく	1
2~3年前に利用計画が立てられる様調整してほしい。	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ 学校行事や上部大会との日程絡みもあり、希望した日にすでに予約が入っている、抽選に外れたとなると対応が難しい。優先に予約できると非常に助かる。
- ・ 大会でない場合は、12か月もなくとも大丈夫である。

- ・ 定期演奏会等は時期が決まっているので12か月より前であればいい。
- ・ 定期演奏会等はやる時期が決まっているので、早ければ早いほうが良い。ゲストなどを呼ぶ場合、日程も場所も決まらないのにわからないということになってしまう。
- ・ 活動を長期的に見るならば12か月前は早すぎない。助成の申請のために企画を立てる場合、それくらいは必要。6か月前で決まっていなくてという規模も何も決まらない状態になる。ただし、単独の公演だけであれば、そこまで早くなくてもよい。
- ・ 予約時期は2年前では早すぎる。
- ・ 1年前の予約時に、先に行政利用が入っていると中々利用できない。
- ・ リサイタルなどで有名なゲストを確保しようとする、1年前の予約では短いことがある。2年前まではないが、1年半くらいであれば大丈夫。団体での発表会では1年前で問題ない。
- ・ 15か月はうれしいが、早ければ安心するだけなので、1年あれば大丈夫。1年半でも早すぎることはない。作品にもよる。
- ・ 優先予約を13ヶ月前から受付、そのあと一般の受付を開始してほしい。
- ・ 15ヶ月前からの予約ができるとよい。
- ・ 大スタジオを本番利用のために使用する場合は練習利用の対応ではなく、1年前(ホールと同じ時期)から申込みができるように。
- ・ 全国規模の催しの場合には2年前からの申込みが必要。
- ・ 演劇(小劇場)の場合には1年前の申込みで問題ない。半年くらい前から動きは始める人もいる。

■ ホールについて その他【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：8団体】

ホールとリハーサル室を同時に予約できるようにしてほしい。	4
出演者の利便性を考えて ・ ステージと楽屋の移動に配慮(バリアフリー) ・ 山台や中幕やプロジェクターなどの設備を備える。 ・ 搬出入車～駐車スペースへの配慮	1
・ 芸術監督制やパデューサー制が導入された場合、施設運用の専権事項や事業部体制の構築が肝要 ・ 大中ホールの舞台床面に相当する練習スタジオの床面 ・ 練習室とホールとの遮音機能	1
全ての施設利用についてホール利用者に優先権があるように 支部大会・全国規模の大会になると基本的に全館を使用することになる。	1
イオンの未来ホールとても使いやすいです。参考までに	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ インターネットで予約できると良い。
- ・ 備品もセット価格の設定があれば利用する。
- ・ 連続使用は最低3日。つくりながら生まれるものや変わるものがあり、仕込みを考えると理想は6日。セットができている状態を維持したまま稽古ができるのが理想。
- ・ ホールは連続使用6日間必要。
- ・ ゴミ処理の料金を基本料が1日2000円くらい上がってもよいので、利用料金の中に組み込んでほしい。
- ・ マイクロバスで乗降できる場所がないと利用できない。
- ・ スタッフがついて照明などの操作をしてくれるサービスがあるとよい

(以下は練習室も共通)

- ・ 窓口の空いている時間は17時までという施設があるが、休みを取って行っている。
- ・ キャンセルも施設に行かないといけない。
- ・ 県の施設はホールはネット予約できるが先着順。希望だけネットで受けて予約は対面など工夫が必要。団体名は違うが、実質同じ団体が複数申し込むなどが生じないように。
- ・ 既存団体の活動で予約が埋まってしまうと、新規参入を妨げてしまう。それはよくない。
- ・ 状況によって融通のきく体制をとって運営を行ってほしい。

- ・ 本番前に声出しができる場所が必要。
- ・ (料金を安くしてほしいなどではなく) 状況に応じて融通のきく体制をとって運営を行ってほしい。

■ 練習室等の開館時間、休館日の希望について【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：8 団体】

・ 早朝や夜間の開館 ・ あるいは、24 時間 365 日の開館	1
ホールと同じ時間設定	1
公民館と同様の扱いをお願いします。	1
9：00～22：00	1
・ 10 時～23 時(平日は 13 時～23 時) ・ 休館日はないに越したことはないのですが、設けるとしたら月曜日(祝日の場合はその翌日)	1
大ホールと同じ舞台サイズのスペース	1
休館日は、なるべく少なく、早朝や夜間の利用などができるようにしてほしい。	1
夜間利用を希望	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ 終了時間の希望は 23 時。24 時も可能ならそれでもいいが、駅を利用してくることを考えると 23 時。その時間設定での、演劇系の活動では需要はある。稽古が 19 時始まりでも集まるのは 20 時、21 時になる。
- ・ レジデンスを行うアーティストが利用する場合は 24 時間使えるなどの対応があってはどうか。
- ・ 24 時まで利用できると嬉しい。ただし職員が残るのも大変だとも思うので、団体が自己責任でできるシステムがあればいい。

Q19 運営ルールについて、希望すること(練習室等)

■ 利用申込のルールについて【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：6 団体】

毎年の定期公演日は優先していただきたい。	1
・ 一般 6 ヶ月前から受付。 ・ 岡山市認定文化芸術団体 1 年前から受付。 ・ 当該施設の主催事業や市長・芸術監督・プロデューサーによる自主企画事業には創造型劇場としての専権事項を設ける。	1
公民館と同様に、岡山市芸術文化団体の場合、予約時期を 3 か月前でお願いしたいと考えています。(もしくは予約時期を一般より早くするなど。)	1
使用団体の協議で調節できるような公平な調整を。	1
・ 最初に借りる際に団体登録をしてもらう(規約などがある場合は規約の提出、ない場合はどのような活動をして、どのように練習室を使うかを書いてもらう。自由さを妨げてはいけませんが、練習室といえど市井にある単なるレンタル施設ではなく、創造・育成・交流の場であるべきという考えからです)	1
施設利用決定を 2 年～3 年前位に、利用計画が立てられる様をお願いしたい。 特別ゲストをお願いする場合、日程調整が難しい様子。	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ ホールと同時に使用する場合は一緒に申込が出来るようにしてほしい。

■ 練習室等の利用料金について【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：5 団体】

登録団体への減免や補助	1
・ 営利・非営利による峻別や入場料金による課金制度など ・ 岡山市認定文化芸術団体の減免や共催・協働公演による減免措置など	1
公民館と同様に岡山市芸術文化団体の場合、使用料免除(もしくは減免)をお願いしたいと考えます。	1
・ 安ければ安いほどいいですが、管理運営のためにも 1 時間 500 円程度 ・ 市内に事務所のある団体への減免 ・ 施設での発表や公演を近月中に予定している団体への減免	1
使用料の減免	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ 公演本番にお金がかかるので練習にはあまり経費を使いたくない。
- ・ 安ければ利用の可能性はある。

■ 練習室等 その他について【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：4 団体】

出演者の利便性を考えて ・ ステージと楽屋の移動に配慮（バリアフリー） ・ 山台や中幕やプロジェクターなどの設備を備える。 ・ 搬出入車～駐車スペースへの配慮	1
・ 芸術監督制やプロデューサー制が導入された場合、施設運用の専権事項や事業部体制の構築が肝要 ・ 大中ホールの舞台床面に相当する練習スタジオの床面 ・ 練習室とホールとの遮音機能	1
・ 施設のアーツカウンシルによる認定団体への、作品創造のための長期貸出など ・ 同一団体の使用制限(週 2 日までとか。ただし、残念ながら違う団体と称して同じメンバーが練習をしていたことが天神山文化プラザで見受けられたので、どう解消するかですね…)	1
ホールとリハーサル室の同時、予約及び利用を希望	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ 練習室の利用区分は、1 時間設定だと、逆に使い勝手が悪くなるかもしれない。細かい区分の間の時間をとられてしまうと長時間まとまって使えなくなる。
- ・ 誰もが使える公平性と集中的に使える長期利用があると良い。
- ・ 練習室は 1 時間単位で借りられると使いやすい。
- ・ 岡山にはアマチュアの活動の方が多くいて、練習場の確保が難しいというのは聞いている。
- ・ ホールを使う時に利用するリハ室や会議室（楽屋が足りない場合）は同時に予約したい。
- ・ 練習利用では、3~4 時間使うので 3 区分で良い。
- ・ 作品を創るために利用する際には、長期間の確保が可能なよう配慮してほしい。大ホール、練習室ともに最低 4 日感以上は必要。
- ・ 工房など大道具等を制作できる場所を使いたい。

Q20.貴団体が「新しい文化芸術施設」と協力してできること

■ 【ヒアリング事前記入シート内容】

【回答：16 団体】

<p>夢を語り、希望に胸を膨らませ、岡山市に文化芸術の大きな花が開くことを願っていますが、最終的には稼働率、入場者数の問題は外せません。私たちは、鑑賞と共に鑑賞する仲間を増やすことを会の目的としている会なので、稼働率、入場者数を増やす方向で協力し合えます。</p> <p>劇団は、岡山に約1週間滞在します。その間、空いている時間を活用して、学校を初めとして市民のためのワークショップや演劇講座など開くことができる可能性があります。</p>	1
<p>「開館記念祝賀大合唱祭り」</p> <p>本年7月2日「第10回記念松山武雄と歌おう2000人のうたごえ」を岡山シンフォニーホールで開催した。</p> <p>現在25会場でうたの会を開催し、「うたごえの父」と称され、音楽のあふれる岡山を創造して来た。できる施設によりますので、現時点では判断できない状況です。</p>	1
<p>25年間の活動で培った県内外や全国各地の人的ネットワーク（舞台芸術アーティスト、プロデューサー、劇場制作者、文化政策者など）を生かした創造発信・人材育成・鑑賞促進・普及啓発・協働連携事業のほか舞台芸術フェスティバルやアーティスト・イン・レジデンスなど地域発信型協働事業へのアプローチや自主文化事業に伴う資金調達、広報宣伝、販売促進、市民参加、友の会運営など制作業務全般への協力</p>	1
<p>施設が文化芸術を育てていく考えであるのなら、施設を使つてのワークショップや、県内の劇団が集まったコミュニティを創り、地域に根付く演劇活動をする。</p> <p>県内・県外から呼ぶどの劇団よりも、面白い舞台を創ってあげます。</p>	1
<p>施設が主催する事に対して団体として出演することはできるとは思いますが、2~3ヶ月前であれば。</p>	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ こけら落としの公演誘致 ・ 共催催事の提案 ・ 盛りあげ企画 	1
<p>施設が主催する事業に団体として主演する</p>	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生による演劇は、たしかに荒削りの部分はありますが、何者にも媚びない、ストレートなメッセージを持った魅力的な舞台です。市民劇場などの商業演劇に親しんでいらっしゃる方々にもぜひ足を運んでいただき、その魅力に触れていただくとともに、世代をこえた理解を深め、暖かいコミュニティの形成に寄与できると感じています。 	1
<p>施設が主催する市民音楽関係の事業であれば、時期にもよりますが、団体として参加可能と考えます。</p>	1
<p>他の団体、個人との交流企画（今までのものにとらわれない）を定期的に行える企画会議みたいなものを施設とタイアップして行い、予算も年度内にこだわらず、企画に予算を付けるようにして岡山の文化力アップを図るようなことがあれば協力して進めたい。</p>	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ 演劇、ダンス、子供むけ、中高年向けのワークショップとその後の発表会 ・ 市民公募による演劇やダンスの公演（中ホールや練習室のみならず、交流スペースやエントランスでの上演など） ・ 施設主催の演劇フェス・ダンスフェス・現代アート展への参加、運営への参加や応援 ・ 岡山市内幼稚園・保育園・こども園・小学校等へのアウトリーチ活動やプロ講師の招聘 ・ その他施設サポート（施設活用や利用向上サポート、プロ劇団の招聘など） 	1
<p>ワークショップ等</p>	1
<p>全国大会を開く可能性あり。</p>	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを対象とした舞台芸術を共催事業として、企画運営 ・ 小・中学校の文化芸術アウトリーチ活動のマッチングなど 	1
<p>市文化芸術祭参加事業として、広くプログラム等で広告</p>	1

◆ ヒアリングでの聴取意見

- ・ 生徒の公演は無料で観てもらっている。敷居を低く観てもらうことができ、演劇に触れるという面で

貢献できている。

- ・ つながりのある団体だけでなく、活動している団体が広く参加できる総合的な企画を立てるようなシステム的なことが新施設でできると良い。そういったことをできる人を育てて欲しい。人材を育てていくのが地域の文化力になると思う。
- ・ 芸術監督などの人は配置されると思うが、カバーしきれないところは、京阪、東京などとも人的パイプは出来ているので協力できる。
- ・ 学校との関係はあり、学校公演を紹介するなどができたりすると良い。どうせ観るなら良い作品をみせたい。小学校ではあて職的に先生が担当され、気にせず選んでいることが多いように聞いている。
- ・ エントランス広場などでWSをやることなどは想定できる。
- ・ 公演中に休館日があるのであれば、その日を利用して出演者が子どもを対象としたワークショップをやるなど考えられるのではないかな。

その他のヒアリングでの聴取意見

- ・ 県大会、中国大会は持ち回りで行うが、岡山市内ではできていない。県域で考えると、宿泊施設もあり地の利の良い岡山市内で行えると、非常に助かる。
- ・ 情報発信をどうしていくか。求める人のところに情報がなく、何をやっているかわからないという声を聞く。
- ・ 会館のHPをみても、情報が一画面にありすぎていつどんなことをやっているかを探し当てるのは大変。検索しやすいとか、リンクを貼るとか分かりやすくしてほしい
- ・ 練習施設として常時使うのであれば、常時使える荷物置き場などは、多分使うと思う。
- ・ 鑑賞後の語りあう場をつくり、感想を交わすだけでなく、交流の場となれば良い。
- ・ 大きい打楽器などを備品として借りられれば良い。練習場が変わると運搬費がかかる。
- ・ 色々な人が毎日来る施設になってほしい。特別な施設でなく、病院や学校と同じように必要な施設と認識してもらえらる施設になってほしい。
- ・ 仕事終了後に支払い等を行うことがあるので、仕事が終わったあと対応してもらえると助かる。窓口だけでもあいていると良い。
- ・ アナログだが、駅に毎週毎週チラシが入るとか、“今日の映画”のような情報提供が良いのではないかな。劇場に行くことが、映画を見に行くくらいの敷居になってほしい。
- ・ 情報が集まる場所はあるが、欲しいところに届かない。自分で探さないといけない時代だが、探しやすいようにしていくことが必要。
- ・ 仕掛け方が重要。どう使うかが重要で、仕掛ける人がいないとならない。
- ・ 発表するために一生懸命練習するのではなく、個人が日常の表現を行う過程が大切なので、そういう活動ができると良い。
- ・ 親が文化に興味がないと中々子供が触れられない。岡山市の学校に行っていたら文化に触れる機会があるというのは大きい。
- ・ ホールのコンセプトがぶれないよう、目的に沿った利用を優先してほしい。
- ・ 繋がりをつくっていく、孤立を防ぐ、社会包摂など新しい劇場の考え方の中にはそういうことが重要。
- ・ 有料で舞台のセッティング（ひな壇等）を行うなど、利用者の利便性を考えたサービスを提供してほしい。
- ・ 音響反射板を設置しないことにより、吹奏楽関係はかなりの出入りが減る。大勢利用が見込めるのに非常にもったいない。
- ・ カラオケをしたい人も全国発信するような公演を打ちたい人にとっても同じルールを適用していいのかな。文化芸術の振興とリンクしてくる部分だと感じている。
- ・ 利用のルールで他施設と差をつけ、特徴をつけていくのも一つの方法ではないかな。
- ・ 施設を建てて完成ではなく、そこから劇場としてのあゆみが始まる。千日前にという場所にできることを活かし、周辺とうまく繋げて創造型やアーティスト滞在型の施設にしていくと周辺の寂しいところを活かすことにも繋がるし、まちづくりや環境団体などをいろいろ巻き込んでいけるのではないかな。
- ・ 大ホールと中ホールが同時に開催されたときに、駐車場がどうなるのか。
- ・ 高齢者が多いのでバリアフリーの施設でないとうりできない。
- ・ 市民の活動をきちんと理解している人が管理を行うべき。
- ・ アクセスがどうなるかが課題。ホール前を路面電車が通ったりできるか。

新しい文化芸術施設【岡山芸術創造劇場(仮称)】
管理運営基本計画

平成30年3月

岡山市市民生活局文化振興課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1

TEL 086-803-1054

FAX 086-803-1763